



会報

発行年月日 平成26年5月1日
発行人 会長 川原善次郎
編集者 黒沢 純一
金子 智久
廣瀬 直子

日本指圧専門学校同窓会
東京都文京区小石川2-12-4
〒112-0002 TEL 03-3813-7354
題字 山内 貞史郎
<http://www.shiatsu-obog.com/>

会長から会員皆様へ感謝申し上げます。

日本指圧専門学校同窓会 会長

川原 善次郎



日本指圧専門学校新校舎建設のレリーフ建立に当たり沢山のご寄付を頂き心からお礼とお慶び申し上げます。会員の皆様には大変お世話に成り厚くお礼申し上げます。新校舎に指圧道の創始者、浪越徳治郎先生のレリーフを贈呈出来ました事も会員の皆様に厚くお礼申し上げます。これには、元の会長小林秋朝先生の提案で、小林先生に建立委員長をお願いし進めさせて頂きました。小林秋朝先生にも大変お世話に成りました事を厚く厚くお礼申し上げます。さて今年度は新校舎から初の卒業生が同窓会

会員に仲間入り致しました。今の時代就職難とも聞いて居ります。同窓会先輩の皆様は協力戴き一人でも多の同志が指圧を誇りに感じられるご指導とお力添えをお願いしたいものです。同窓会と致しましても今まで通り年2回の指圧研修会を企画しますので、技術の事、また経営の事、開業立ち上げの事、地域同業者などとの関係等ご相談が有りましたら是非ご相談をお受け下さい。私たち指圧師は医業の一員と成りますので、お客さんの相談にも答えたり、アドバイスしたり、健康指導したり、そしてお客様に感動を与えられる様な指圧の研修が必要です。此れからは介護事業にも参加するように成ります。筋肉、関節の運動法も取り入れなければ成りません。指圧業はお金のある人だけがお客さんで無くなりません。指圧を生かして色々

な分野で活動しましょう。そして私は指圧師ですと答えられる指圧師を目指しましょう。同窓会事業の運営費は皆さまからのご寄付を活用させて頂いて居ります。今後同窓会活動にご理解とご協力を頂き宜しくお願い申し上げます。これからも同窓会会員の皆様の御健勝をお祈り申し上げます。会長からの感謝と致します。



日本指圧専門学校
同窓会のロゴマークです。
デザイン：鈴木啓太(49期)

平成25年度

通常総会が開催されました



鮎沢 聡 先生

日本指圧専門学校同窓会の平成25年度通常総会が、平成25年6月9日(日) 茗荷谷の茗溪会館にて開催されました。

出席者は在校生も含め約100名、定刻10時を少し回り、同窓生物故者に対し黙祷が捧げられた後、総会が開催されました。

岩本健一先生の司会のもと、君が代斉唱、川原善次郎会長の挨拶と続き、石塚寛名誉会長からご祝辞を頂きました。

総会の議事は、①平成24年度事業報告及び決算報告、監査報告、

②平成25年度事業計画案及び予算案について行われ、予定時刻をオーバーする数々の質疑応答の後、全員の拍手により承認されました。

その後の記念講演では、「手技療法の可能性」と題して、筑波技術大学 准教授であられる鮎沢聡先生による講話が行われました。

なかにはビデオ撮影や録音をされる熱心な会員もいらっしゃいました。また、鮎沢先生は脳神経外科・統合医学がご専門であられるので、興味深い内容を沢山お話頂き、スライドの上映も相まって大変好評でした。

午後からの懇親会は、新入会員歓迎懇親を兼ね、和やかな雰囲気の中、進められました。日本指圧専門学校理事長であられる同窓会名誉顧問浪越和民先生の名誉顧問挨拶、同窓会会長川原善次郎先生の会長挨拶と続き、乾杯の挨拶の

後、新運営委員の紹介が行われ、ご挨拶を頂き、続いて和やかな歓談に移りました。今回も立食パーティー形式にしたこともあり、思いつき話や業界の事、仕事の事など話に花を咲かせていました。新旧会員の交流が盛んに出来た事と思います。

最後に、校歌を全員で斉唱し、鈴木林三副会長による詩吟、そして閉会の挨拶と続き、これをもって本通常総会は閉会となりました。

*本総会の記念講演「手技療法の可能性」の内容は日本指圧専門学校同窓会ホームページにてご覧頂けます。

URL:

<http://www.shiatsu-obog.com/>



平成25年度 指圧実技講習会

同窓会の中心行事となりました
指圧実技講習会が本年度も実施さ
れました。

第20回目は8月に千葉県富津で
行われ、44期小野朋子先生と副会
長の鈴木林三先生よりご講義頂き
ました。

第21回目は新しくなった実技室

において11月に59名の参加を頂き
盛大に開催され、基本指圧の大切
さを改めて実感するよい機会とな
りました。

来年度も全国津々浦々に広がる
同窓生のご協力の下で講習会を開
催したいと思っております。どう
ぞ、宜しくお願い致します。

第20回 指圧実技講習会 (千葉)



「研修会に参加して」

54期 湯浅麻里

酷暑のなか8月18～19日に開催
された平成25年度第1回地方研修
会の第1講座に参加してきました。
会場は千葉県富津市の「かぢや旅
館」。自宅から車で2時間ほどで
浜金谷のフェリー乗り場に近い昔
懐かしい趣きある旅館につきまし
た。海風が心地よい大広間の和室
で講習会が行われました。お題は
「治療指圧」歪み・縮みと坐骨神
経の關係」講師は44期 小野

朋子先生、卒業と同時に銀座に治
療室を開き、出張もされているそ
うです。出張先では患者様はもち
ろん、ペットのワンちゃんにも指
圧をされ、喜ばれているそうです。
私も3頭のシニア犬がいますので、
足腰まわりを指圧しています。
「はい、おしまい」というとお腹
をだしたり、背中を私にむけ、私
に催促します(笑)。気持ち良い
と感じることは人も動物も同じで



講習風景 小野朋子先生

すね。

さて、詳細は①神経系からみた
坐骨神経。解剖でも太い坐骨
神経は自律神経にも何らかの影響
があらわれます。②臨床例からみ
た歪み・縮み。電車で居眠りして
いるといつも同じ側に傾き、隣に
寄りかかりそうになることがある
と思います。これは縮んでいるほ

うに傾くとのこと。原因は先天的
な場合と首を痛めているという後
天的なことが考えられるそうです。
また、症状と各器官への影響・坐
骨神経との関係について講義され
ました。③坐骨神経の調整の実技
講習。私は稲場先生とペアを組み
ました。学校での実技テストを思
いだします(汗)。肩甲間部の基
本指圧・脊柱起立筋・梨状筋など
のポイントを教えていただきました。
施術後はきれいなウエストラ
インなっているか・脈を触れてみ
て体内めぐりチェック。ほかに
もすぐに臨床に役立つお話を聞く
ことができました。帰りは稲場先
生の指圧のおかげですっきり、疲
れもなくドライブできました。久
しぶりに学校の先生方にもお会い
でき、楽しいひと時でした。また、
機会がありましたら、参加したい
と思います。先生方、ありがとう
ございました。



「医業のための基本指圧」を受講して

57期 佐藤栄治

去る8月19日、本年度の第1回
実技研修会に参加しました。参加

目的は、現在学んでいる基本指圧
を鈴木先生の講義を通して、臨床

指圧の基礎的な考え方を学ぶことを念頭におきました。碎けて言えば「森（臨床指圧）を見て、木（基本指圧）を学ぶ」です。

講義では、鈴木先生の指圧を受け、私の指圧動作を見ていただきました。この研修会で特に勉強になったことは次の3点です。

1点目は「指圧動作は両膝関節や股関節の動きが重要である」と。

長時間きちんと動かせるには、先生はスクワット運動を紹介されていましたが、私の場合は、趣味のジョギングで足腰を動くようにしていきたいと思います。



講習風景 鈴木林三副会長

2点目は「肩甲下部は、力を抜いて圧するのではなく、力が抜けて圧するのがポイントである」と。

実技指導では、「肩に力が入っているから押そうとする意識が強くと、圧が患部に深く入っていかない」とコメントをいただきました。立ち位置や足の角度を矯正された上肢と下肢がバラバラに動いているのが少し意識できました。「肩甲下部は基本」の教え通り、繰り返し練習していきたいと思います。

3点目は「姿勢や指使いを変化させると、圧の性質も変化する」とこと。「固い部分は何でも、コリで片づけるのではなく、患者の体位を変えてみるのも筋緊張を緩め、術者も楽に指圧ができるコツ」だと教えていただきました。

今回の研修で「基本指圧即臨床指圧となり得る」と論じる鈴木先生の講義に初めて参加し、大変勉強になりました。指圧1年生として、臨床指圧を解り易く分解した基本指圧を意欲的に学んでいこうと思います。

最後に、本研修会を企画運営ご指導いただいた諸先輩、先生方に深く感謝いたします。

第21回

指圧実技講習会（学校）



研修レポート

47期 木村洋介



講習風景 川原善次郎会長

平成25年度、同窓会母校研修会に参加をいたしました。日本の誇る指圧マスター川原善次郎先生の講習。日本の指圧マスターは、すなわち世界の指圧マスター。世界の川原名人と同義で在ります。御大の独壇場。冴え渡る名口上。場が盛り上がって来たその時！

「暑くなつて来たな。」と、長袖

のシャツを往年の名歌舞伎俳優のように、颯爽とした身のこなしで雰囲気たっぷりに脱ぎ捨て、満を持して登場したのは、母ごろろTシャツ！しかも真っ赤な赤シャツ！すると！その時、絶妙のタイミングで会場に現れた指圧界の巨星鈴木林三先生も同じ真っ赤な母ごろろTシャツ！デザインも色も色々あるというのです！まるでネタを仕込んでいたかのようですが指圧の匠、いや聖に成るとこの境地に到達しているのですね。思わず手を合わせたくなりました。

さて、講習の中身は書いた物は何も渡さず、「何も足さない。何も引かない。」ひたすら実践で、参加者の質問や疑問を、その場で直接引き出し、即実践で示してくださる名講義と成りました。名川原節も滑らかに、口と同時に身体と手が動く！骨のキワ、筋の起

始・停止、悪い所を外さない。肝

心な指圧点をじっくりゆつくりと持続圧でしっかりと圧す。掌圧で炎症を取る。母指と三指はセット三指が効いていると母指が良く入る。指圧師が「力む」「構える」と治らない。開業したら技術一本、患者様が最高の先生。骨に触れながら自然にめりこむように圧す。圧しながら関節を動かす。「圧さえる」押圧。ゆつくりじっくり

しつかりのリズム・テンポが治療効果を上げる。等々。参加者の現場で直面する實際を、即その場で実践で示してくださり、参加者の

ニーズに具体的・現実的・實際的にお答えくださった。「現場で通用するかが全て」と、おっしゃらんばかりの満足度の非常に高い名講習でした。

これを受けて私自身も「現場で通用するか」「現場での結果が全て」「患者様、お客様がいちばんの師」ということを、あらためて強く再確認いたしました。

本当にありがとうございました。日々、毎瞬々、指圧道を極めて生きます。精進して生きます。



「今一度基本指圧を」

48期 公平 尚行

浪越学園に入学して以来、初めて同窓会研修会に参加させていただきました。1講座目の川原先生に続き、2講座目は鈴木林三先生による「医業の為の基本指圧」がテーマでした。今思えば鈴木先生の授業を受けるのは卒業以来で、学生時代に先生の授業で一番最初に習った指の使い方と、力が抜けて圧せるようになるために必要な

スクワットを久しぶりに教えていただき、まるで昨日のこのように思い出しました。僕は在学中から、接骨院やリラクゼーションマッサージ店等さまざまな現場で指圧をしてきましたが、今回参加して気づかされたのは、今までやってきたのは基本をすっぴかしたただの自己流マッサージだったということ。例えば、接骨院

の場合ですと保険診療なので、どうしても15分以内でしかできないクイックマッサージですし、リラクゼーションのお店だと、治療というよりもとにかく強い刺激を求められてしまうので、学校で習った正統な指圧ではなく、より客ウケできるように腕力とスピード重視の本来とは違う方向に大きく脱線してしまいました。しかし、いくらその現場の患者さんのニーズに合わせるためとはいえ、こんな無理な押し方を続けていけば、もみ返しの原因に繋がりますし、なによりも自分自身の身体が壊れてしまいます。以前勤めていたマッサージ



講習風景 鈴木林三副会長

店の店長からは「指は壊して鍛えるもの、楽して圧そうなんて甘い考えではこの世界じゃ通用しない」とまで言われたことがあります。その時は素直に聞き入れていましたが、今回改めて力が抜ける押し方を習って、やっぱり学校で教わったことは決して間違いではなかったと感じました。確かに基本指圧は他流の手技療法と比べると、非常に動きがシンプルなので入学したばかりのころは正直半信半疑でやっていましたが、そのシンプルな動きはちゃんと人の身体を治すために必要な無駄のない動きであると感じました。林三先生がよく仰っていた「何も足さない、何も引かない」とはまさにこのことだったんですね。最後になりますが、在校生の皆さんにこれだけは言わせてください。卒業後は他流の手技を学ばれる方もいると思いますが、例えそうだったとしても我々が三年間学んできた基本指圧だけは絶対に忘れないでいただきたいです。



今日の爽やかな秋晴れの元、日本指圧専門学校が、最新の教育設備が整った、立派な新校舎を7月に竣工してから、本日、待望の新校舎落成記念、内覧会の日を迎えられましたことは、誠に

浪越徳治郎先生

「肖像レリーフ」建立実行委員長挨拶

建立委員長 17期 小林 秋 朝



めでたく、心からお祝いを申し上げます。

新校舎建設を機に、浪越徳治郎先生の、生前のご遺徳を偲び、同窓生の祝意を結集いたしました祝賀記念事業であります「肖像レリーフ」が、こ

こに完成しエントランスホールに掲げられました。ただいまは、浪越和民理事長はじめ、教職員並びに同窓会役員、皆さまのご参列をいただきまして、厳粛の内に「肖像レリーフ除幕の式」を、無事に執り行うことができましたことを、レリーフ建立実行委員を代表しまして御礼申し上げます。肖像レリーフの「経過と概略」は、すでに同窓会報に掲載していただいていますので省略いたします。

今この様な見事なレリーフが完成した慶びと、襟元の学校の象徴であります校章が、小さく金色



に輝いているのもイメージ通りで安堵いたしました。「校章」の両手は、平和と慈しみ深き母なる指圧師の手を表し、日の丸

の扇子は、発祥の国、日本はもとより世界に、独自の指圧手技と、その神秘的な生命の息吹を送る、風を象徴しています。

今除幕されました、浪越徳治郎先生の肖像レリーフは、校庭の半身像と共に、平成元年・1989年5月31日・84歳の、在りし日の御姿でございます。

往く歳月、時が流れ、幾時代を重ねても、このレリーフの前に立つ浪越門下生たちには、校章に象徴される指圧手技と歴史とともに、母心の伝統を受け継ぎ、先生のまなざしと笑顔に励まされて、夢、希望、情熱、技、誇り、未来へ繋ぐ力を得る、パワースポットになる事を確信いたします。

今後ますます日本指圧専門学校が、一層ご発展されますように祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

指圧セミナー

ドイツ・ハンブルク

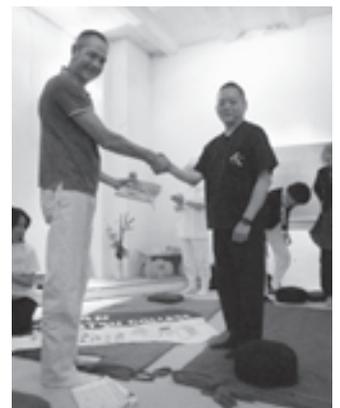
17期 小林 秋 朝



ドイツ第二の大都市ハンブルク(Hamburg)で禅指圧学校(経絡指圧)を運営されているWilfried RAPPENECKER校長先生から、ドイツでの講習会の開催希望があり、講師として派遣されることになりました。

ドイツには指圧学校が16校あり、その中でもWilfried先生の学校は大きく草分け的な存在の学校です。指圧師はドイツ全土で1500名ほど登録されており未登録を含めると約三倍以上の方が活躍されているそうです。

11月26日の午後に成田国際空港を発ち、ドイツ・ミュンヘンで乗り継ぎ、約17時間かけてスペイン・マドリッドに到着しました。今回の講習ではヨーロッパ浪越指圧代表である小野田茂先生(日西指圧学院校長・マドリッド)が、サポートしてくださることになったので、まずスペインで講習の打ち合わせを行い、彼と一緒にドイツ、ハンブルクへ向かいました。11月29日、ハンブルク空港でWilfried先生と通訳の加藤織先生(鍼



禅指圧学校の教科書(ドイツ語)を記念に頂く

灸師、ドイツ自然療法士)の迎えを受け、市内のホテルに21時頃に到着しました。

11月30日、講習会一日目は、

9時にホテルを後にし、霜が降りた寒い中を10分ほど歩いて禅指圧学校へ行きました。学校の建物

はドッシリとした重厚感のある中層のビルで、外観の建築様式が統一されたビルが立ち並ぶ一画に在りました。出入口の天井は、アーチ状で高く、中はふき抜けで広い中庭と



校長先生の禅指圧

駐車場になっており、中庭を囲む大きい四角形の建物の二階が講習の会場でした。室内は、中庭側が全面大きなガラス張りの窓で、朝日が燦々と差し込み、床の厚いカーペットと暖房とあいまってとても暖かく、窓ガラスに指絵文字が描けるほどでした。

参加者は、この道20年以上のベテランから学生まで合わせて40名でした。まず自己紹介で、私は次のメッセージを送りました。「初めての地ハンブルクで皆様とお会いできたことを光栄に存じます。浪越徳治郎先生が創始されました。基本指圧をご紹介します。指圧手技の優劣を競うものではなく、取り入れたい手技があれば皆様の臨床上の治療にご活用ください。」小野田茂先生は、「私は30年ほどスペインのマドリッドに住んで指圧の

治療と普及をしています。ヨーロッパの人々は個性を尊重します。指圧も治療師がそれぞれの個性を全面に出し治療するのがよいのかと思います。個性を出すには柱すなわち基礎が必要です。その基礎は浪越指圧です。その基礎を徹底的に習い、その上で創作するのが道と解釈しています。」

そして、記念品として浪越和民理事長から預かってきた新校舎落成記念品タオルとTシャツ、新校舎写真帳を Wilfried 先生に贈呈しました。



モデル 小野田茂先生

つづいて、母校の近況報告を、新校舎落成記念内覧会の模様や授業風景、大改装により一新した本校舎の実技室、多目的な基礎医学実習室、男・女ロッカー室、学生ホール、保健室、治療室、同窓会室等の様子を収めたDVDを使って紹介しました。講義では、簡潔に指圧の基本事項である指の使い方、母指圧、手掌圧、支え圧の意義、通常圧法、指圧の三原則、苦手指型、甘手指型の特長を説明しました。また治療に於いては、局所で終わることなく、なぜ全身指圧なのかについて解説しました。最後に、かつて徳治郎先生がよくお話されていた指圧中興の祖、後藤良山の「コリをとれ・温めよ・笑いなき



い」という言葉の意味を解説し締めくくりました。実技では、初心者が最も陥りやすい、腕力や指先だけの力で圧す指圧や、圧加減を指先だけで調節しがちになるのを防ぐために、いかにして体幹の重心移動をスムーズに行うかについて、小野田茂先生をモデルに、各部位ごとに姿勢の動きと解説を加えながら、丁寧に進

めました。

受講生には、モデルへの演技が終了した時点でその都度3日間通して「何か疑問の個所がありませんか？」と必ず問いかけて、その質問に答えながら、相互指圧の実践に入るようにしました。

受講生はペアを組み、小野田茂先生の号令に合わせながら、横臥位の指圧に取り組み、私は皆に見えるように、再度

受講生に横臥位指圧を行い、後半はペアの指圧を見回りながら指導に当たりました。同時にスクリーンには、順序通りの基本指圧が映されるので、受講生には、姿勢と圧点などすぐに見当がつき、初めてにしては、思いのほかスムーズに進行しました。

交互の横臥位指圧が終わり、相互指圧



実践後の質疑応答が終わったところで、30代の男性から、「一年あまり肩と腕痛で悩んでいて、治療法を説明していただけないでしょうか？」との質問を受けました。そこで、この男性をモデルに、実際の患者として治療することになりました。

①問診…主訴は肩、上腕痛、指にシビレ感、日により患部の痛みの増幅、消長があるが、原因となる受傷記憶なし。

②病態把握「座位」…肩関節から指の関節まで、他動運動で関節可動域

を確認。運動制限なし。五十肩（肩関節周囲炎）の異常なしと判定する。痛みの発生源を的確に把握するため、患部を患者の健側指で示してもらおう。患部の触診は、押し痛みを再現し、数箇所の主なる圧痛部位を確認。患側頸部（指先まで触診。時間が無い為、頰椎症、五十肩の整形外科テストの説明は省きました。）

③治療「横臥位」…患側を上にした姿勢で、腕神経叢の支配域を主に、頸部、肩甲上部（肩峰、肩甲間部、肩甲骨周囲部、肩甲骨上部、棘上部。次いで片膝ついた姿勢で、上肢を肩峰周囲部から手指部へと入念に指圧、上肢伸展。最後に、頭方から片膝をついた姿勢で、腋窩部、肩関節周囲部、三角筋、小円筋、大円筋、



前鋸筋部、上肢伸展。④治療「仰臥位」…腋窩部、三角胸筋溝部、肩上部、肩関節周囲部、上腕部、前腕部、手指部。

③④の指圧においては、押し痛みの硬結のほかに、関連痛をおこしていると推定される大、小種々の索状硬結を慎重にとらえて、入念に施術しました。

12月1日、講習会二日目は、「伏臥位」の後頭部（背部調整法について、

唯一国外から参加された鍼灸師でもある Vieira 先生（ポルトガル浪越指圧代表・ロジェリオ先生の会員）をモデルに前日の要領で行い、次いで Wilfried 先生にも受け手になっていただき先生を指圧しました。

ペアを組む指圧では、小野田茂先生が姿勢やポイントの助言を加えながら号令を掛けて行いました。

その後、Wilfried 先生が、私に40年の経験を持つ先生流儀の禅指圧を伏臥位で肩背部を施術してくださいだったので、思わぬ相互指圧となりました。

先生の禅指圧は、拳や肘を使わず手掌圧を多用した「優しい指圧」で、とても気持ちの良い指圧でした。

指圧を受けた後、急に前日昼食をしたレスト



座学 右端 Wilfried 校長先生

ランに向かうと、小野田先生、加藤織先生と三人の受講者の皆さんが、同じテーブルですでに食事を終えて待っていてくれました。その中には、昨日肩、腕痛でモデルになった彼がいました。彼は、私に昨日の指圧のお蔭で痛みが消失して、「こんなに良くなった！」と、椅子から立ち上がり腕を挙げたり下げたり、拳をグー・パーして見せ、「指のシビレ感も取れた！」と、大変喜んでいた！と、大変喜んでいました。

12月2日、講習三日目は、「仰臥位」で、午前中は、頭部（腹部まで、午後は、下肢と上肢について解説しました。デモンストレーションを終えてから前日と同じように、ペアを組み、小野田先生が姿勢やポイントなどアドバイスを入れながら号令をかけて行いました。私は、3日間の講習を熱心に取り組んでくれた、Wilfried 校長の御夫人に号令に併せて指圧をしました。傍らでは校長先生が座りながら見学され、終わった後に、にこやかなお顔で手を組み振動手掌圧の真似をされて、大変興味を持たれた様子でした。

午後は修練中のペア組を見回りながら順次、姿勢やポイントに手を添え

て指導役に専念しました。参加者全員が指圧の経験がある為、さすがに飲み込みが早く、初めての基本指圧をほとんど号令に遅れることなく、真剣に取り込んでいる姿勢に、大変感服いたしました。

講習会閉講式で、受講者に講習会の感想を訊ねたところ、「大変良かったので、来年も是非開いて欲しい。」「校長先生、二年先まで予定が入って



小林 加藤 Wilfried 校長ご夫妻 小野田各先生

前中は、Wilfried 先生のご案内で、ハンブルク市内を車で観光しました。市内の中心に、大きな湖が二つもあるのには予期しない驚きでした。運河も多く、観光船での運河めぐりも有名で、大・小の橋の数にいたっては、なんとベネチアとアムステルダムをあわせたよりも多いそうです。外湖の畔に車を止めて、絵

しまっているの
で、次は3年後
に開催したい。」
そんなやり取り
を、加藤先生が
嬉しそうに知ら
せてくれました。
Wilfried 先生か
らも、大変満足
な内容でしたと
の感謝とお礼の
言葉を頂きました。
た。

12月3日、ド
イツ最終日の午

ハガキでも有名な湖に面してそびえ建つ高級住宅地前の湖畔を一周できる遊歩道を散策した後、小さい方の内湖がある街の中心、繁華街へ行きま

した。
運河のたもとに立つ中世に建てられた歴史ある市庁舎前は、年度のクリスマスシーズンで観光客が多く、テント作りの露天市は大賑わいでした。その広場から運河の橋を渡ると、こちらもシヨツピング客で一杯な国内外



賑わう広場 市庁舎右

の有名店が入る真っ白なアーチが美しいアルスターアルガーデンがあり
ました。港から大きな船が汽笛を鳴らして行き来する川岸にでると、そこは市民有数の憩いの場所となっていました。数十キロにわたって砂浜が延々と続く川岸沿いの遊歩道を散策してから、運河観光の船着き場にある観光客が訪れる有名なレストランで、軽い昼食をとりました。レス



アルスターアルガーデン 小野田先生

トランからは、湖に面して幾つも立ち並ぶ大きなホテルや、観光船の発着を一望することができ圧巻の景色でした。短くも名残惜しい市街を後にして、空港へ向かいました。
車中では、先生から「次回来る時は郊外にある私の家のゲストルームに遠慮なく泊まってください。料理は趣味だから、自分で自慢のドイツ料理を毎日作りますよ!」と、大変親しみのこもるお言葉を頂いた私たちは、フレンドリーな温情に感激すると同時に、この講習会に満足していただけたのだと実感しました。
空港には約束の時間の13時30分ピッタリに送って頂き、Wilfried 校長先生、加藤先生とはまたの再開を約束してお別れし、陽が傾き始める14時50分、搭乗機はハンブルクから、次の講習地スイスに向けて離陸しました。



た。彼は16歳まで日本で家族と暮らしていたので、もちろん日本語が堪能でかつ日本の知識が豊富な好青年でした。

私もなく、二車線の道路が一本有るのみの、とてもローカルな駅で、ほの暗い道路わきは薄っすらと雪が積もっていました。



着しました。ホテルに到着すると、食堂のオープン時間や料理が三食ともカロリー計算されたベジタリアン料理であること、飲料水は清潔な水道水を飲用し、すべてセルフサービスであることなどの説明を受けました。



スイス・キンタル

17期 小林 秋朝

ハンブルクからの搭乗機が16時30分、スイス・チューリッヒ(ZURICH)空港に到着するとスイス

講習会で通訳(ドイツ語)を務めてくださる、ヨナタン(Jonathan WUEST)さんが出迎えてくれました。



会場から外の景色

一日目の講習時間は9時〜18時半まで、二日目は夕食を挟んで22時までお願いしたいとの要請を受けてのミーティングでは、講習会の会場に案内されてのミーティングでは、

12月4日、講習一日目、会場に到着すると、正面のアーチ状の大きな窓から雪を頂いた3千メートル級の山が朝日をはね返して白く輝いているのが目に飛び込んできました。白銀の大自然に囲まれ、遠い山稜まで一望できる、まるで展望台のような会場でした。

今回の主催者マリオ・ビネンティ(Mario BINETTI)さんは、このホテル内にある自然療法士養成学校の学長であり、またホテルのオーナーでもあります。

学校には、禅指圧のSHIATSU課というのがあり、その課主催の講習会に招かれたわけでした。昨日まで一緒にしていたハンブルクのWilfried校長先生も講師としてよく来られるとのことでした。ホテル内では指圧講習と

並行して自然療法士養成の合宿が別棟の会場で行われていました。

開会式では、マリオ学長、小林、小野田茂先生の挨拶、スイス浪越指圧代表、ダリオ (Dario BARANZINI) 先生、アンネマリ (Annemarie FREY) 先生お二人が表敬訪問されて挨拶されました。それから、浪越和民理事長から預かってきた記念品をマリオ学長に贈呈し、講義に入る前に、



応病

腰部、殿部、膝窩部、足関節部、足指まで、手掌持続圧を主にした指圧法を行いました。

12月5日、講習二日目、応病としては、次の通りです。

①「応病」…上腕痛を訴える中年の女性をモデルに治療しました。

母校の近況をDVDで紹介しました。

座学と基本実技は、ハンブルク講習と同じように進め、「横臥位での応病指圧」として、高齢者、病弱者、腰痛の軽減、特にギックリ腰、炎症の消長を目的とした、背部、



応病

②「問診」…肩から上腕痛。腕の動作により肘折肩から頸部方向にハリ感のような痛みを感じる時がある。

③「病態把握」…肩関節可動域の自動運動。運動制限なし。

ジャクソンテスト、スパーリングテストでは、頸椎症なしと判定する。

ヤーガソンテスト、スピードテストでは、上腕二頭筋長頭腱炎なし

と判定する。

④「治療」…「座位」にて、頸部、肩背部、上肢。⑤「横臥位」にて、患側⑥「伏臥位」にて、肩、上腕部、肩甲骨周囲部。⑦「仰臥位」にて、上肢。④⑦の指圧において、腕神経叢の支配域を主に、

押し痛みの硬結のほかに、関連痛をおこなっていると推定される、中、微妙な索状硬結を探り入念に施術しました。治療スタイルは何通りかのバリエーションを紹介することもできました。

施術後、「痛みも消え、軽くなった」と、とても満足して



早朝の瞑想禅指圧

いただきました。

「横臥位」のデモンストレーションは、SHIA TSU 課の女性教師スサン・ホッフマン (Susanne HOFFMANN) 先生に行いました。スサン先生とは3年振りの予期せぬ再会でした。スサン先生は2010年6月、フランス・パリでのフランス国際指圧大会が開催された時に、セミナーに参



右 Mario 学長、ヨナタン、小林、小野田、Ernst 支配人

彼に下肢のデモンストレーションのモデルになっていただき、患側の下肢に指圧を行い、

「どうされましたか？」と訊ねると、「一ヶ月前、足関節部を複雑骨折して、今は痛みが無いです。」との返事でした。

スイス国内の講演では、8年前イタリア語圏のBilinzonaで行われた指圧セミナーで講演して以来、年月が瞬く間に過ぎましたが、来年EUの中でスイスが他国に先駆けてSHIATSUが法制化され、待望の国家資格になるとの明るいニュースをこちらで知りました。SHIATSUが未来に向けてさらに大きく開花する



チュウリッヒ駅のクリスマスツリー

と予感させるこの時機に、意思の通った「指圧合宿セミナー」を無事に果たせたことに意義を感じました。

高さ15メートルの豪華なクリスマスツリーが、燦然とまばゆく輝いていました。

加され「躁うつ病患者の治療」のテーマで講演をされていきました。お別れの夕食会の時、頸部指圧をしてさし上げる機会がありました。先生はその時「キンタルで浪越指圧の講習会を開きたいの思いを抱き、今回願がかないました。」と話をされていきました。



スイス浪越指圧代表ダリオ先生、アンネマリ先生

12月6日、講習三日目は、「仰臥位」で下肢、上肢、腹部。

患部への指圧では、圧の程度に細心の注意を払い施術を行えば、リハビリに効果があることを基本指圧操作と併せて解説しました。

閉会式でマリオ学長から、丁重なねぎらいの言葉と共に、ぜひ来年度も講習会を開きたいとのご希望をお聞きしました。



号令指導 小野田茂先生

間に合うようにと大急ぎで着替えをすませ脱兎のごとく車に乗り込みました。車は月明かりの急な坂道を慣れた絶妙な運転で快調に下り、シエピエツ駅に着いた時に、チュウリッヒ行き急行列車がホームに進入して来るのが見えました。列車に間に合い終点チュウリッヒ中央駅構内では、クリスマスを祝う、ヨーロッパと話題になっていたスワロフスキー(Swarovski) 1万個に飾られた、

今日より明日へ

同窓生からの便り

心の片隅に母ごころを

48期 平井浩介



日本指圧
専門学校を
卒業し、国

家試験に合格してからもう7年。小心者でビビりな私は「卒業、即開業」なんて思いもしなかった。いつかは自分で独立して開業ができたらいなあとは思っていたがいつ・どこで・どうやってなど全く考えていなかった。

卒業後は入学時には全く頭になかった在宅マッサージの会社に入社した。今思えばすごいことだがこの会社には一時期6人も浪越のクライメイトが在籍していた。学生の頃から仲の良いメンバーだったため何かあれば集まって相談したり押し合いをしたりでき居心地

は良かった。

しかし、指圧をする患者さんは学校で指圧していた頃には出会えなかった麻痺を患った方や関節が拘縮したりで、自力で歩行するのが難しいご高齢の方が多かった。麻痺している体、ご高齢者の体に触れたことがなかった私は案の定ビビっていた。ビビると言うことは自信がない表れ。

問診し触診し施術開始。迷いながら圧していては患者さんに伝わってしまう。圧するときには迷いなく圧そうと決めていた。麻痺とはどんな感じなのだろう。拘縮しているかどうかという動きが制限されるのだろうか。モノマネ心に火が付きこっそり真似したりしていた。

真似をするだけではあくまでも真似事。実際に自分の体は患者さんと同様に麻痺しているわけではない。でも何もしないよりは真似をして少しでもその患者さんの気持ちに近づけたらと思うていた。そうした中、毎日患者さんの体に触れさせていただいているうちにいつの間にかビビりも少しずつ解消されていた。

会社員でいる以上は会社の方針に従っていかねばならない。スケジュールの管理、施術時間等は会社で決められていた。もう少し患者さんのことが知りたい。もう少し指圧をしたい。もう少し時間には余裕があれば…自分のペースで仕事ができれば…と思っているうちに国家資格もあることだし独立開業を考え始めた。

そのときは30歳も過ぎていて妻のお腹には新しい命が宿っていた。子供が小さいうちは生活面では金銭的な負担も少なく済む。

「そうだ！失敗するには今しかない!!!」

と思いき直って独立し開業することにした。妻にも相談し快諾を得ることができた。開業するにあ

たり初めてのことばかり。慣れないパソコンでチラシを作り、名刺を頼み、介護事業所に営業をする。指圧以外にもしなければならぬことはたくさんあるが開業することは当然のことなので苦にはならなかった。

たくさんの方に支えられ、ありがたいことに今年度で5年目を迎えることができた。患者さんから「次はいつ来てくれるの?」や「前より膝が伸ばせるようになった」など声をかけていただけるとこの仕事に非常にやりがいを感じている。

今後も指圧のみならず患者さんの心のケアも心がけながら患者さんひとりひとりの時間を大切にしていきたい。



指圧師として母として



「ママお
仕事がんば
ばってね!」

陽気な娘のその言葉に後押しされながら毎日患者さんの元へ向かっています。浪越学園を卒業してすぐ結婚・出産を経験して二児の母になりました。新婚生活、初めての子育て、初めての臨床の場、この6年の間に色んな初めての出来事が慌ただしく通り過ぎていきました。

現在は医療保険を使った訪問マッサージとデイサービスで機能訓練指導員として働いています。訪問マッサージは30分という短い時間で、外出が困難な疾患を持っている患者様達を治療しなければなりません。脳梗塞、ALS、糖尿病、リウマチ、脊柱管狭窄症、パーキンソン病、変形性膝関節症、脊髄小脳変性症など臨床医学各論で勉強した疾患の患者様達が日々登場します。どうしたら患者様達が昨日より今日が、今日より明日

49期 野老 真梨絵

(旧姓：玉置)

が楽に過ごせるかどうか奮闘する毎日です。

現場に出て改めて各論の勉強の重要性に気づかれます。

入学した当初は解剖学・生理学の授業が外国語のように聞こえ、文系を貫いてきた私にとって衝撃的なものでした。3年間ついていけるだろうか、そんな不安も募りましたが、それは最初の中間試験後の飲み会で払拭されました。話を聞けば周りのクラスメイトも同じことを思っていることがわかったからです。

それからはがむしやりに自分なりに勉強し、夜間部だったこともあり、授業後にクラスメイトと飲みながら夜な夜なお互いの夢を語りあって、刺激しあいながら充実した3年間を送ることができました。

自分と同じくらいの年の人から親よりも年上の人まで様々な人がいたクラスメイトや先生から得た人生勉強は、学校での勉強と

同じくらい今の私の糧となっています。

最初は長いと思っていた3年間も振り返ってみるとあつという間でした。

学生の皆さんには定期試験や国家試験はもちろん大事ですが、それだけに囚われすぎず、その先の目標を見据えつつ最後かもしれない学生生活を楽しんでほしいと思います。

今の私の目標は「女性の為の指圧師になること」です。

その女性の為というのは2つの意味合いがあります。

まず1つは女性の患者様です。女性特有の婦人科系疾患を患っ

ている方、産前産後の体の不調を感じている方、働きすぎて疲れている方、そんな女性を体だけでなく、同じ目線でお話を伺いながら心からケアできればいいと思います。

もう1つは女性の施術者です。指圧師の資格を持ちながら子育てや家庭の事情で仕事から離れてしまっている方が多くいると思います。この業界は患者様のニーズが優先されるので、自分の働きたい時間だけ働いて資格に見合うお金をもらうということが難しいと思います。そういう女性の為に私が架け橋となって、子育て経験者には母乳分泌促進マッサージ(助産師が主となってやっていますが、手技を覚えれば私達もできます)、介護に興味がある方・経験者の方には非常勤の機能訓練指導員など短時間でも働ける有資格者の雇用を生み出せればと思っています。

「人間万事塞翁が馬」の如く何が転じて人生に変化をもたらすかわからないので、子供がいるから働けないと嘆くのではなく、子供がいるからこそできる仕事があると喜びを感じながら精進していこうと思っています。



第五十五期 卒業式

日本指圧専門学校第54期卒業式が3月1日(土)リーガロイヤルホテル東京にて午前10時から執り行われた。

黒沢純一課長の司会で、君が代斉唱の後、卒業証書の授与に移る。昼間部田中智子先生・本多剛先生、夜間部渡邊和雄先生・高橋雄輔先生各担任の呼名により113名の卒業生が一人一人壇上に上り、石塚寛校長より卒業証書と専門士の称



号が授与された。

続いて東洋療法学校協会賞がA組の大木慎平さん到手渡され会場は拍手喝采に包まれた。賞状授与は続き、

3年間皆勤された卒業生に満場の拍手と共に賞状と記念品が手渡された。さらに功労賞(学級委員)、優等賞の表彰、さらに指圧研究会や浪越スポーツトレーナー部、オイルマッサージ部、修練会、指圧連、英会話クラブなど部活動に活躍した学生が表彰を受けた。

同窓会会長賞は、B組伊藤勝基さん、C組東大介さんが受賞し、川原善次郎会長より記念品が手渡された。石塚寛校長の式辞、浪越和民理事長の祝辞に続き、煙山力理事より温かい祝辞を頂戴しました。

次に祝電披露、来賓紹介の後、在校生代表星野喬一さんによる送辞、卒業生代

表五十嵐仁さんによる答辞が述べられ、各々が心の中で3年間の思い出を巡らせているようでした。

校歌「指圧讃歌」を合唱し、卒業式を終了した。

12時より卒業謝恩パーティーが開催された。C組植村祥子さん、松橋正仁さんによる司会により、54期生徒会会長五十嵐さんの挨拶、石塚校長の乾杯の音頭で祝宴に入る。歓談の後、3年間の思い出が大きなスクリーンに上映され、歓声が上がった。

浪越理事長、石塚校長にそれぞれ花束が贈呈された。感動の中、14時卒業謝恩パーティーを終了した。

仲間との別れを惜しむ楽しい時間はあっという間に過ぎ、散会。その顔はみな晴れ晴れとしたものでした。

卒業生第55期代表からのひと言メッセージ

3年間を振り返って

A組 大木 慎平



学校生活を通して思うことは、こんなに面白い人間関係を経験できる学校もないだろうな、ということですね。私の今後の人生の中で、30以上離れた年上の方と一緒に物事を教えるということや、10ほど離れた年下に本気で諫められたりといったこともあまり多くはないかと思っています。その節はどうもすいません。いやほんとすいません。

この学校は個性ある学生を集めるの

皆に感謝

A組 小山ともみ



この学校に入学しようと思ったきっかけは、当時リラクゼーションで働いていた時に、お客様に言われた一言でした。「腰が辛いから治して！」この「治して」という言葉にもどかしさを感じたのを今でも忘れられません。リラクゼーションの範囲の知識しか無いのでどうする事もできませんでした。会社の主任に相談をした所、「浪越の学校はどう？」しっかりと体の勉強も出来るし、とてもいい学校だよ。」主任の勧めもあり学校に行く事を考え始めました。入学を決めた自分の年齢が29歳、30歳を目前に不安が押し寄せてきました。高校卒業以来、勉強とはかけ離れた生活。深夜の仕事をしながらか勉強なんて出来るのかな？毎日不安でいっぱいでした。しかし、入学後はそれまで不安だった気持ちの嘘の様に晴れ

て毎日が忙しいながらも充実し、とっても楽しい日々が待っていました。優しく迎え入れてくれた3Aの皆、一緒に勉強をして迎えた中間テスト期末テスト！必死だったね(笑)勉強は一人でコツコツするものだと思っていたけれど、皆で助け合いながらやるのもいいんだなあーとしみじみ感じました。先生方も本当に温かく見守ってくださり、学校と言うより「家族」みたいな感じがあって、とても居心地が良かったです。国家試験の当日も応援に来てくださり、一人一人に言葉を掛けてくれたのが嬉しかったです。感動して正直泣きそうでした。(笑)3年間、今振り返れば新幹線のように早かったです。3Aの皆や先生方の支えがあったからこそ、ここまで乗り越えられたと思います。やっぱり人間一人じゃ生きられない！と実感した感謝・感謝の3年間でした。心よりお礼と愛を申し上げます。学校で学んだ事を活かす少しでも多くの患者さんの力になるよう努めて行きたいと思っています。

3年間を振り返って

B組 伊藤 勝基



サラリーマン定年後の人生を有意義に過ごしたいと言っている。手に技術を身につけて 他人に迷惑をかける 少しでも世の中で役に立つ 三年前浪越学園に入学しました。入学前は時間潰しと言う軽い気持ちでしたが、学校に入ってから試験、試験に追い回され、あれ、こんなハズじゃなかったと何度思ったことか。でも、三年経った今では、指圧の施術方法を身につけ、又人間の体に関する知識も修得出来、それはそれは非常に充実した三年間であったと断言出来ます。

3年間を振り返り

B組 細山恵理子



私は高校を卒業してすぐ、この日本指圧専門学校に入学しました。なぜ、この学校を選んだかという、私は自分に自信を持ちたかったからです。平凡な大学生活を送るより、特別な資格をとって意義のある人生にしたいと思いをしました。そして何の資格をとろうと考えた時に、人を癒す仕事がしたいと思い、マッサージの世界に入ろうと思いました。学校の授業は思っていたより、とても難しく大変でした。しかし、高校での勉強とは違い、いつか仕事で役に立つんだ

と思うとモチベーションも少し上がりました。実技の授業では、1年生の頃は人の体に触るのも触られるのも最初は慣れませんでしたが、今では指圧の素晴らしさが分かり、施術をするのもされるのも大好きになりました。また、実技の時間にクラスの人とペアを組んで、練習しながらおしゃべりするのがとても楽しかったです。クラスメイトは人生の先輩達なので、どんな話も参考になりました。いい刺激になりました。先生方もとても親切で安心して3年間を過ごせました。本当にありがとうございます。

学校を卒業し、資格をとっても、スタートラインに立ったただけなので、初心を忘れずに頑張っていきたいです。

在校生の皆さんへのアドバイスとしては、一つは、国試合格の為に、日々の授業を大切にすること。二つ目は、実技でも学科でも分からない処は先生、先輩そして友達に確認することだと思います。新校舎に移ってからは、教務室、各教室間の行き来が難しくなりましたが、これを解消するには皆さん自身の行動力です。是非とも自分の夢の実現に向けて頑張ってください。

最後になりましたが、先生方々の熱意溢れるご指導に感謝致します。卒業後の私は指圧を通して多くの人に会い、その繋がりを大事にし、生きて行きたいと思っています。三年間、本当にありがとうございました。

ふるさとのために

C組 横井 敬人



ふるさとの山に向ひて
言ふことなし
ふるさとの山は
ありがたきかな

東京での三年間を振り返り石川啄木の歌をかみ締めています。三年前の三月、雪まだ深い世界遺産五箇山合掌造り集落のふるさとから浪越学園55期夜間部に入学の為上京、以来卒業の日まで目の回る様な毎日を過ごしてきました。田舎では夜の9時頃ともなると静寂に包まれる日々を暮らしていたのが学校帰りの電車は正にすし詰め状態。60歳を目前にしての学生生活、退行変性が著しい身には全

てが厳しく本当にこの生活が続けていけるのかと不安になったものです。しかし心身共にすり切れていても帰郷しふるさとの山を目の前にすると不思議と疲れが消えていました。

今しみじみとふるさとの風土そして人達のお陰で生きている、癒されていると感じています。私の田舎は典型的な少子高齢化の村で健康に不安を抱える人も数多くいます。三年間の勉強を通して指圧にいかにも人を癒す力があるかを知りました。今後は私を支えてくれたふるさとにこの指圧で少しでも恩返しが出来ると、指圧師の旅立ちに当たり一層の修練を積み重ねなければと心を新たにしています。

人に優しい医療を目指して

C組 水口 直美



私は、長年看護師という立場で薬漬けの医療を感じてきました。

最近では患者さんの身体に触れる医師、看護師も少なくなってきた印象です。痛いといえば鎮痛剤、精神状態が不安定な人には精神安定剤、排便困難の人には下剤等。しかし薬には副作用が伴い、特に高齢者には顕著に現れます。又病氣、治療に対する本人・家族の不安の軽減を図る事は重要で、不安や不信感治療の効果にも影響してきます。救急医療は別として指圧療法は、人間の持つて

生まれた自然治癒力を促進し病気の予防へと導くとされています。

又、何より身体に触れる事は不安を軽減し安心感を与え信頼関係を築く第1歩となると思います。未熟児看護の中にあるタクチールケア(タッチケア)は認知症の患者の攻撃性を和らげる効果もある程です。私は、この三年間で学んだ指圧療法を臨床の場で取り入れ少しでも薬の服用を減らし、安心感を与え、肉体的精神的苦痛を緩和出来る様、精進していきたいと思っています。

在校生の皆さん、充実した学生生活にして下さい。最後にお世話になった先生方、クラスメートの皆に感謝、有難うございました。

卒業式を迎えて

D組 佐藤 瑞恵



入学式がついこの間のことにように感じられるのに、目標だった国家試験も終わり、卒業式を迎えて、気がつけば本当にあつという間の三年間でした。

入学を決めた時は、三年間週六日も通い通すことができるのか不安でしたが、今思うことは考えているよりもやってみた方が早かったということ。思い切って飛び込んだおかげで、同じ道を目指すかけがえのない仲間に出会い、親身

になつて一緒に頑張ってくれる先生方に出会い、卒業して活躍されている先輩方に出会い、大好きな後輩に出会うことができました。

一人一人の生き方や姿勢に触れて、自分自身を見直し、成長させる良い機会をいただいたことに心から感謝しています。春からは、新しい生活が始まりますが、皆がそれぞれの道で充実した毎日を過ごされることを願っています。そして、自分もたくさん頂いた恩を少しでもお返しできるような頑張っていきたいと思っています。

三年間本当にありがたうございました。

感謝感謝の三年間

D組 出浦 顕



この三年間を振り返って、僕が真っ先に思うことは『感謝』です。

三年前、高校卒業と同時にこの学校に入學した僕は、クラスに馴染めるのか？勉強は難しいのか？一人で生活できるのか？など不安な気持ちでいっぱいでした。特に、人見知りな僕は、クラスメイトに心のシャッター閉店ガラガラ状態で、なかなかクラスに馴染めずにいました。そんな僕にクラスのみんなは優しく声をかけてくれました。時には笑いも交え、時には真剣な姿勢で接してくれてと

でもありがたかったです。

また、一人一人違った人生を歩まれてきたクラスメイトのお話や、学校生活での関わり合いを通して、自分の考えている世界がどれだけ小さいものであったか、自分がいかに子供であるかなどを思い知らされました。このことは、今でも日々感じています。少しづつですが成長しているとも思うので、気づかせてくれたクラスメイトには本当に感謝しています。

指圧の技術だけでなく、人間的にも成長できたとても充実した三年間でした。最後になりますが、三年間ご指導いただいた先生方、共に学んだクラスメイトの皆さん、本当にありがたうございました。

同窓会会長賞を受賞して

B組 伊藤 勝基



本年3

月1日第

55期卒業

式にて、

川原会長より「同窓会会長賞」を戴き誠にありがとうございました。

大変名誉ある賞を戴き、恐縮している次第です。まさか、自分が受賞するなんて、という驚きと、又、この賞を与えて下さった同窓会のご配慮に感謝致します。又、頂いた置時計も大変立派なもので非常に気に入っております。

私が受賞出来た理由は何かなど、自分なりに考えてみた処、自分は時間の都合がつく限り、同窓会主催のイベントに出席していたのかなあ、と言う事でした。

在校生の方も同窓会主催のイベントに極力参加され、同窓会会長賞を狙われてはいかがでしょうか。

今の気持は受賞した以上、

微力でも同窓会を盛り上げていかなければという責任を感じております。

ここで3年間の学園生活で印象に残った3点について触れてみたいと思います。

1つは、ハワイ大学での解剖実習です。私は1年の時に参加しましたが、これは「百聞は一見に如かず」です。日本で体験出来ない事が、海外で出来る訳ですから、可能な限り参加すべきと思います。参加する以上、目的意識—何の臓器、筋、骨、血管等を見つけたのか、触りたいのか—を持って参加しないと無意味な実習となってしまいます。

2年時の東邦医大での解剖研修は、これはこれで勉強になりましたが、ハワイ大学での実習とはインパクトが違います。

2つ目は3年時最後の卒業旅行です。我が55期3Bは少人数での参加でしたが、3年経って、初めて本音で

3年経って、初めて本音で将来の事(夢)を話し合

えたと思います。

自分の話をした事に対して責任を持って実行出来るのではないのでしょうか。担任の本多先生、田中先生、そして黒沢(純)先生から、

とつても、とつても良い話が聞けました。そして泣けました。今の在校生の卒業旅行が実施されるか否かは知りませんが可能であれば

実行すべきと私は思います。3つ目は、修練会です。入学時稲場先生より「伊藤は歳なんだから(現在64歳)一人でも多くの人に指圧をしないと修得出来ないよ」との忠告を受け、1年、2年時は出来るだけ出席しました。3年時は諸事情があり、あまり出席出来ませんでしたが、そこで稲場先生、渡邊先生、そして諸先輩の方々から指導を受け、卒業した今、やっと半人前の指圧師になれたのかなと思っています。(或る先生からは、一人前の指圧師になるには毎日施術をし

て、10年間かかると言われた記憶があります。)

在校生の皆さん、ご自身の為に是非とも修練会に参加されてはいかがでしょうか。

今後は同窓会を通して諸先生方、諸先輩、後輩の方々と、同窓生の皆さんと交流を深め、良き人生を送りたいと思います。これからも宜しくお願致します。



D組 東 大介



まず同窓会会長の川原善次郎会長、

そして3年間最高の学びの環境を提供して下さいました先生方、事務室の方々に感謝申し上げます。最後にありますが、毎年6月に総会、懇親会(新入生歓迎会)が行われますが、そこでは多くの出会いがあります。学校を卒業して就職した先輩、開業して大成している先輩から直接お話を聞くことができ、職場の雰囲気や開業当初の苦労話など普段は聞けないようなお話を聞くことができます。1年生は全員が、2年3年は委員長と副委員長が出席することができます。私も参加予定なので是非お話ししましょう。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

「卒業後、即開業という道を選びました。修行了た方がい

ハワイ研修

ハワイ研修を経て

55期 川村 恭 豊

私は三年次にして初の参加となりました。ハワイ自体が初であったため、多めに不安や緊張や楽しみである気持ちをポケットに詰め込みながら、ハワイに到着しました。到着するや否や早速、ハワイの天候や景観の良さが飛び込んできました。その時点で既に来て良かったと思いました。着いた日とその翌日が自由行動であったため、心身のコンディションを整えたり、ハワイに馴染んだりするには十分な時間がありました。その間、やはりハワイに来て良かったと思いました。

その後の二日間はいよいよ解剖実習だったわけですが、始まる前は恐れや不安もありました。しかしいざ始めて、感動の方が大きすぎてすぐに吹き飛びました。表層にある筋と深層にある筋の位置関係や臓器の配列など、活字で覚えていたもののイメージしきれなかった部分を鮮明にすることが出来たと思います。個人的に特に印象深かったのは、教科書や問題などで「肺尖は鎖骨の上方2〜3cmにまで達する」と

いう文章があつて、そのイメージがつかず問題でも間違えた経験があつたのですが、実際に

見ると納得しました。肺があんなに上方まで潜り込んでいるとは！このような発見や再認識など得るものが実に多く、とてもなく充実した時間を過ごさせて頂く事が出来ました。

研修が終了し、再び自由行動日を経て日本への出発日となりました。ハワイに滞在していた約5日間は内容が実に濃厚で本当にあつたという間でした。言葉では表しきれないのですが、やはりハワイ研修にきて良かったと思えました！

このような貴重な体験をさせて頂いたのは、先生方、旅行会社の方々、家族や仲間達、皆様のお陰だと思っております。本当にありがとうございます。願いが叶うならまた是非行かせて頂きたいです！まだ行かれてない方は是非参加することをお勧め致します！



ハワイ解剖実習を終えて

56期 上村 剣太郎

3月13日木曜日、ハワイでの解剖実習へ期待に胸を膨らませ成田空港より飛び立ちました。現地時間の午前10時にホノルル空港へ無事到着し、初日は団体での観光。現地の方による貝殻のネックレスのおもてなし。を受けバスに乗りました。はじめに、この木なんの木で知られるモンキーポッドがあるモアナアガーデン、次に凄まじい風が吹くヌアヌパリ展望台、そしてカメハメハ大王像。そこで記念に写真を撮ったり、展望台で強風によって髪の毛がぐちゃぐちゃになってしまいう生徒もいたり、初日からイメージングでした。昼食をとり、私たちが5日間お世話になるワイキキサンドピラホテルにチェックインし、アロハシャツに袖を通してお出かけし、各自思い思いに過ごし1日目を終えました。2



日目と5日目は自由行動でショッピングやワイキキビーチへ行ったり、髪を切ったり、オプショナルツアーに参加したりなど色々でした。ツ

アーではハワイ島へ火山を見に行ったり、ダイヤモンドヘッドに登ったりとハワイならではの体験が行われました。私は、専用のクルーザーで沖まで行き、水中での呼吸と操縦が可能なサブマリンスクーターという乗り物に乗り、見たことのない綺麗な魚たちやウミガメを間近で見ることができました。海もすごく綺麗で、海底まで透き通って見えました。そして、3日目、4日目の解剖実習。ハワイ大学医学部の施設を貸していただき、大学の講師による解説を交えながら人体の構造を知ることができました。はじめは怖く、ご献体に触れることが出来なかったのですが、進んでいくうちに探究心が芽生え、自分から進んでメスを入れることが出来るようになりました。座学だけではピントと来なかった筋肉の起始、停止や臓器の位置、形も、実際に触られたことで深く理解できました。

今回、5泊7日という短い時間でしたが、異国の地での異文化に触れつつ、人体を解剖しながら学習をし、とても濃く貴重な時間を過ごすことができました。お世話になった皆様、本校の教員をはじめ、ハワイ大学の関係者や通訳で来ていただいた卒業生のウッドバインご夫妻、本当にありがとうございます。あと一年、座学と実技に正面からぶつかり、これからも修練していきたいです。

新入生の (58期) 誓い

A組 石原 夢子

私は小学生の頃から、指圧師の父や祖父の仕事をよく近くで見ました。自分の身体一つで患者の方の身体を癒す、指圧師という職業に興味を持ちました。これからの高齢者社会において、身体の痛みや疲れを解消するだけでなく、生身の人間として患者の方と向き合い、心を癒すことに少しでも協力できる様な指圧師になりたいと思いました。

この春、晴れて浪越学園に入学が

決まり、指圧師への第一歩を踏み出すことができたと嬉しく思います。

仕事と学校の両立をされる生徒の方もいる中で、高校生までの様な生半可な気持ちではすぐに行かれないと思うので、一日気を引き締めて学んでいきたいです。そして、勉強だけでなく、三年間の学校生活でのクラスの仲間や先生方とのコミュニケーションを通じて自分自身を成長させ、患者の方々に寄り添える指圧師を目指します。

B組 柏木 雄一

私は今、日本指圧専門学校に入学できた喜びで一杯です。人生の半ばに、まとまった学習の機会を得られたことは本当に幸運です。

私は会社員として二十年余りを過ごしてきました。様々な職場で経験を積み、職業人として成長できたのですが、いつか、指圧師という職業に憧れを感じるようになりました。会社を辞めることには不安もありましたが、新しい挑戦をするには年齢的に限界だと思い、この学校の門を叩いたのです。

この学校には年齢も経歴も様々な人々がいると思います。様々な経験を積んだ人々が、指圧という同じ目標のために集まるというのは不思議なご縁です。先生方や先輩方との出会いもそうです。患者さん達との出会いも、指圧が取り持つ深いご縁だと思えます。

三年後、再び実社会に出る時、指圧師として自信を持って飛び立つことが出来るように、この学校に入学できた幸運に感謝しながら、学生生活を悔いの無いように満喫したいと思えます。

C組 西田 裕志

この春、日本指圧専門学校に入学でき、ここで学ばせて頂ける事に大変嬉しく感謝しています。

私がここで学び目指す者は、多くの方々が笑顔にし、その方々の健康の助けができる者になる事です。

私は前職でマッサージスタッフとして働いていました。そこで私が担当させていただいた方々が、お帰りの際、又は再来店してくださった時に、

笑顔で良くなったと言って頂けた事がとても嬉しく、より多くの方のお役に立てればと思っております。

しかし、次第に自分の技術・知識が足りないと感じるようになり、そうした時に、この学校に出会えました。私としては、入学できた事をスタートラインに立てたと思いい、これからの三年間を自分の目指す者に近づけるように、一歩一歩確実に歩んで行こうと思えます。

D組 小池 直大

この春、指圧専門学校に入学させていただくことにうれしく思っております。

私が全体の道に歩んだのが約四年前肩こりや腰痛に悩んでいる家族や友人の姿を見て、症状を治してあげたいと思い、今までやってきました。

今では身体の部分だけでなく心の方も癒し楽に出来るように常日頃から心掛けております。これからもこの気持ちは変わらず、精進できるより一層勉強に励んでいきたいです。

思っております。

学園生活ではまず慣れていくことから始めていき、楽しく、元気に勉強や学校行事などいろいろなことを学んでいけたらいいなと思っております。ときには辛いことや悲しいことがあるかもしれませんが、私が成長するためのスパイスと考えていき、三年間先生やクラスメイト、先輩方と交流を深めながら、けして悔いのない学校生活を送れるように頑張っていきたいです。

開業奮闘記



51期 木佐木 淳平

もともと、開業したくて浪越学園に入学した僕ですが、3年前の3月に開業した時はとても不安でした。浪越学園の51期生である僕は2010年に卒業してから一年ほどで開業しまして自分的には勢い良く事が進みました。ありがたいことに神奈川県鎌倉市内に土地と建物を確保できたので、お店の準備はうまくいきました。不安の原因は何かにお客様を確保するかということでした。

元々能天気です。「なんとかなるさ」くらいに指圧院を始めましたが、ありがたい事に開業する前にお世話になったマッサージ店や会社でアルバイトしてもらっていたお給料よりは稼ぐ事が出来ました。しかし、アルバイトの時のお給料よりも稼いだと言っても所詮アルバイトより多いだけです。治療系のお仕事をしている人ならすぐに分



治療院 外観

かって頂けるかと思いますが、自費の施術で稼いでおられる方は、それはもう大変な事です。そんな人たちについての話や噂を聞いて希望を持って施術のお仕事に就く人はとても多いはずですが、実際になかなかそんな収入にはなりません。卒業したてで、余程の腕前と経営センスが無いと自費のみの施術で会社員並みの売上を確保するのは難しいです。開業した年の秋頃まで15万円前後の売上でなんとか生活していました。世間の正規の従業員のお給金には程遠い稼ぎでしたが、でも僕は毎日楽しかったです。浪越学園に在学中の頃から働いていたお店は基本給がない完全歩合だったにもかかわらず、毎日ではありませんが、12時間勤務を頼まれて、それを断ると居心地が悪い思いをしました。雇用主はお客様を断らなくて良いようにマッサージ師の頭数を揃えておきたいのですが、狭い控え室にこもるだけで一日に一人も施術させてもらえない日だってありました。「辛いけど、初めてマッサージで稼ぐ機会を与えてくれた店だし、院長は練習の機会を与えてくれるし」という雇われる者独自の根性論や忠義だけであの店にいました。でも、長続きする忠義はモチベーションがあつて初めて長続きます。それに自然に従業員が長続きする事業所は、忠義や根性論なんかには頼りなく、「ついでに行こう」と思える経営者がいます。このお店は、開業に合わせて僕が辞めた後、程なく無くなりました。家賃も滞納していたし新しい従業員も寄り付かなかつたようです。もう一つ体験した雇用先は出来たばかりの会社でした。大手企業にマッサージ師を派遣する業務の会社だと思っていたのですが人柄が悪い経営者だった事と、多数の従業員への給与未払が繰り返され経営者たちは夜逃げと

言いますか、姿を消しました。4月に出来て8月くらいまでの寿命が短い会社でした。卒業前後にこんな感じの雇用体験をしたので僕の開業への意志はより強くなりました。そして開業するからには、患者様に喜ばれて、且つお世話になった二つの事業所とは違い社会から信頼されるお店にしたいと強く思いました。ありがたい事に鎌倉市内に店舗兼自宅を用意出来ましたので、自費の指圧院として「かまくら・ゆるむ」をスタートしました。三年生の関係法規の授業で習った通りの、待合室と施術室を作りました。変な名称ですが、僕が自分で考えたものです。当院をご利用くださるお客様の身も心も「ゆるむ」のが目的だからです。本当は、人の体は緊張と弛緩を繰り返すことで均衡を保つので「ゆるむ」だけでは足らず、「しめる」必要もあるのですが、「かまくら・しまってゆるむ」という名称ではイマイチしまらない名前と感じます。僕の親の世代の方々には覚えにくい語呂のようなので「ゆるーむ」と言われたり「癒room」に名前を変えたらと言われた事もありましたが、敢え

て覚えにくい語感にする事で印象を優先させました。開業準備の時期や当初、仕事に繋がることなら何をするのも楽しかったです。これは開業した人になにか味わえない快感です。店舗の床に使うワックスをネットで調べたり、実際にワックスやるために中野区の下宿から鎌倉へ通ったり、チラシをネットで見つけた印刷会社に頼んだり、さらによいチラシにしようと吟味したり、そのチラシをまず町内全域に配り、さらには隣の地域に進出しました。開業当初は、時間だけは沢山あります。僕は散歩を愛しておりますので、時間を見つけてはほとんど自分で配りました。「せんみつ」と言うのでしょいか。「チラシは千枚配って三軒から反応があれば御の字」という意味なのでしょいか、当時はホームページが無かったのでチラシだけが僕の施術所について拡散する手段でした。必死な思いでチラシを作製し配りました。ご近所さんはチラシホラ来てくださっていました。が、それだけではとても生活していけません。だから、チラシを見て来てくださったお客様は、神様のように思えました。金子智久先生は開業したばかりの頃、一緒にチラシを配ってくださいました。だからその後、チラシを見てお客様が来てくれました。500枚のチラシを配るとお一



治療室

の療養を受けてくださる方が多いです。その合間に自費の指圧を行っています。最近ではありふれた開業の仕方になると思います。しかしとてもやり甲斐があります。頑張れば頑張った分だけ、手を抜けば手を抜いた分だけ自分にかえってきます。短期間で成果を出そうとすると、思ったようにはなりません。粘って長い間隔で取り組むと、保険往療は色々な成果をもたらしてくれるはずですよ。

また、僕には治療技術を教えた下だった師匠がいます。佐々木了雲先生という方ですが、この先生が背中を押して下さらなかったら開業なんてとても実行出来ませんでした。そして操体法という技術をしこんでいただきました。これも僕の腕では万人に効果をもたらす事は出来ないのですが相性がよい患者様にはものすごく、ものすごく喜ばれます。それと、いま他の治療の先生からも習っている技術があり、指圧以外を習っているとそれがまた、指圧をする際の新たな感覚を生み出しているな一と思えます。

自費の患者様でも往療の患者様でも、僕に様々なお話をしてくださいませ。他に患者様を紹介して下さったりすると舞い上がる気持ちになりますし、連絡が来なくなると寂しくなります。冬になると、患者様がお亡くなりになる事が多いです。先日、までそれなりに元気だったのに、「入院が長引いてるな」と思ったらご家族から「亡くなった」と連絡が来たりします。寂しい話ですが、しみじみとした気持ちになるのはそれだけ責任を持って定期的に会いできる立場であつたからこそです。

保険往療、自費にかかわらず施術の間、有意義なお話をお聞かせくださる方も多いです。お客様は歳上の場合が多いからか豊かな人生経験を感じる機会なんとも多い事でしょう。ガラスの会社を経営されていたお客様は、日本や世界の歴史やガラスに関する知識を教えてくださいませ。僕の頭では付いて行くのがナカナカに大変な事もありますが、「フランスのシャルトルの大聖堂で見られるステンドグラスの青がシャルトルブルーと言います。」「ステンドグラスというのは13、4世紀から、黄色いのが出てくる。銅や鉛に配合されるようになったのです。」鉛といえは、ローマは鉛で減んだと言うが、鉛を使ったグラスで飲むワインは結構うまいようです」なんて聞かされると感心させられ、指圧しながら歴史ロマンに触れられます。お医者様をしてられるお客様か

らは、「40を過ぎてから医大受験を決心したら父親が喜んでくれた」なんて人生の節目の話から、「まずは患者のお話をしっかりと聞くことが治療の最初」と僕の仕事にも繋がるお話を聞かせて下さりもします。

腕がないと開業なんか無理無理と考える人が大半だと思えますが、患者様の症状、ご希望に耳を傾けて真剣に施術に取り組むことでもなんとかなる事も少なくないです。もちろん来なくなる患者様もいますが、施術者と患者様の「相性」は大切な症状緩和の要因の一つですので、患者様が少ない時が来たら、自分のダメさにしばらく思いを馳せてその後は「なんとかなるナル♡」と前向きになりたいものです。

親がサラリーマンだったからか、周囲からはサラリーマンを経験していないと一人前ではない、という考え方の人が多かったですが、それは職種によるようです。開業する事が許される資格を取ったらそれを存分に活かす選択肢をこの文章を読んでくださっている方々には忘れて欲しくありません。

僕が今も個人事業主を継続出ているのは、この文章にも書いた通り多くの恩人のお陰です。この場を借りて、皆様にお礼を言わせてください。ありがとうございます！

人、指圧を受けに来てくれた感じでしたが、それを智久先生にお伝えすると「それは結構な高確率ですよ」と励まして下さいました。その後も、智久先生には様々な指圧のアドバイスや、はては保険往療を始めた頃に、「智先生、どうしよう、お医者様が同意書を書いてくれません」なんて問の抜けた迷惑な電話をしてしまった事もありました。でもそうやって智久先生に相談すると、後々うまく行くので不思議です。これから開業する方々は、困った時は一人で悩まずに、迷惑をかけることを厭わずに優しい人に相談すべきだと思います。一人でもみんなとすると、気が滞ってしまい八方塞がりになります。格好悪くても誰かに相談すると、もしもすぐに欲しい回答が来なくても「気が通った」感覚になります。それだけでなく開業は、ご利用くださるお客様と接する事で、

世間との気を通すのですから、お客様じゃない人と接する事で、世間や社会との気を通すのもお仕事を継続する上で大事な手段だと思えます。卒業すると、浪越学園に行く機会は減ってしまいました。でも時々、校舎に顔を出したり出来るのは指圧ボックスに顔を出すお陰だと思えます。忙しいと参加頻度は減りますが、金子泰隆先生や智久先生のロックバンドのお手伝いをさせていただくことは、すごく楽しいし一流の教員をされている先生方と音楽を通して触れ合うとお仕事への刺激もいただきます。

でも正直なところ、自費の指圧のみでは僕の技術だと生計が成り立ちません。現在、僕の売上の殆どは「保険往療」に基づいています。病院のように絶え間なくお客様がいるわけではありませんが、保険往療は患者様が支払うお代が一割もしくはは三割になるので継続して私

研 究 発 表

頭部への指圧刺激が瞳孔直径・
脈拍数・血圧に及ぼす効果

◆日本指圧専門学校

学 生 田高 隼、大木 慎平、佐々木亮輔、
竹内 隆子、鳥居 瑞希、永田 昭子、
上原 昌貴、大池 茜、菅野実希子、
高橋 正浩、角本 靖司、福田 淑恵、
中野 まほ、三原 春陽

指導教員 渡邊 和雄、田中 智子、本多 剛、
黒澤 一弘、石塚 寛、
大沢 秀雄（筑波技術大学）、
森 英俊（筑波技術大学）

I. はじめに

本校では指圧刺激による自律神経機能に及ぼす効果を明らかにするため、これまで研究を進めてきた。すなわち、健常者への指圧刺激によって①心拍数は減少^{1, 2)}、②血圧は減少²⁾、③筋血流量は増加³⁾、④胃電図ドミナントパワーは上昇⁴⁻⁶⁾することを本学会誌に報告してきた。これらの報告から指圧刺激によって種々の自律神経機能に影響を与えることを明らかにしてきた。

瞳孔は自律神経支配を受け、自律神経機能の指標としてよく用いられていることから、瞳孔直径は指圧刺激によって自律神経を介し反応が起こることが予想された。そこで、2010年より、瞳孔直径に及ぼす指圧刺激の効果を検討し、腹部、前頸部、仙骨部への指圧刺激によって瞳孔直径が有意に縮小することを明らかにした⁷⁻⁹⁾。

今回はこれまでの報告を踏まえ、頭部への指圧刺激が瞳孔直径に及ぼす効果を検討すると共に、血圧・脈拍数も同時に計測したので報告する。

II. 実験方法

1. 対 象

実験対象は本校学生及び教職員の健常成人、計22名で男性9名・女性13名（20～46歳・平均34.7±8.6歳）で、事前に十分に実験内容を説明し、同意を得た上で実験を行った。

2. 実験期間・場所

2013年4月27日から8月10日まで、本校の基礎医学研究室にて行った。

実験環境は室温22±2.0℃、湿度79±15.0%、照度100ルクスであった。

3. 測定方法

瞳孔計測は両眼電子瞳孔計（ニューオプト社製、ET-200、図1）を用いて瞳孔直径の変化を測定した。

血圧測定は連続血圧計（メディセンス社製、MUB101、図2）を用いて血圧及び脈拍数の変化を測定した。



図1 両眼電子瞳孔計

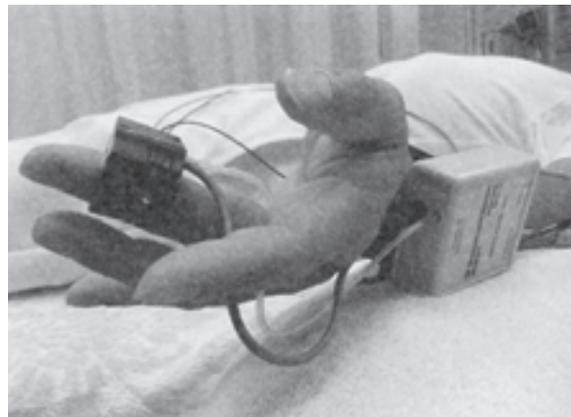


図2 連続血圧計による測定の様子

4. 刺激方法

刺激部位 (図3)

仰臥位にて、浪越式基本指圧の頭部正中線6点を重ね母指圧にて刺激した。

1点圧3秒を通常圧法にて、3分間繰り返し施術を行った。

圧刺激は通常圧法 (漸増・持続・漸減) にて、快圧で行った。

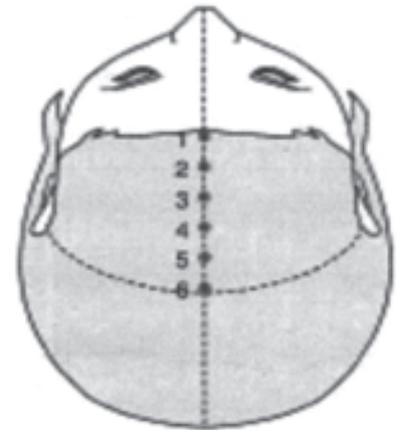


図3 頭部正中6点

5. 実験手順 (図4)

被験者に対し事前に実験内容を説明し、同意を得た上で体調や眼の疾患などについて問診した。

22名の被験者が、仰臥位で指圧刺激前3分間、刺激中3分間、刺激後3分間の順に計9分間瞳孔直径・血圧・脈拍数を測定した (以下、刺激群)。また、対照群として刺激群と同様に仰臥位で9分間安静状態の瞳孔直径・血圧・脈拍数を測定した (以下、無刺激群)。これらは日を変えて実施した。

瞳孔直径の測定は、1.5cmのマーキングを被験者が見える位置に固定し、実験中に目視させた (図5)。



図4 実験手順



図5 瞳孔計による測定の様子

6. データ解析

刺激前60秒 (Bf60) をコントロール値として、刺激中 (St.) 及び刺激後 (Af.) を30秒間隔で解析した。

7. 統計処理

瞳孔直径・血圧・脈拍数を混合モデルによる二元配置分散分析、各群は Bonferroni 多重比較を行った。有意判定は危険率5%とした。

Ⅲ. 結 果

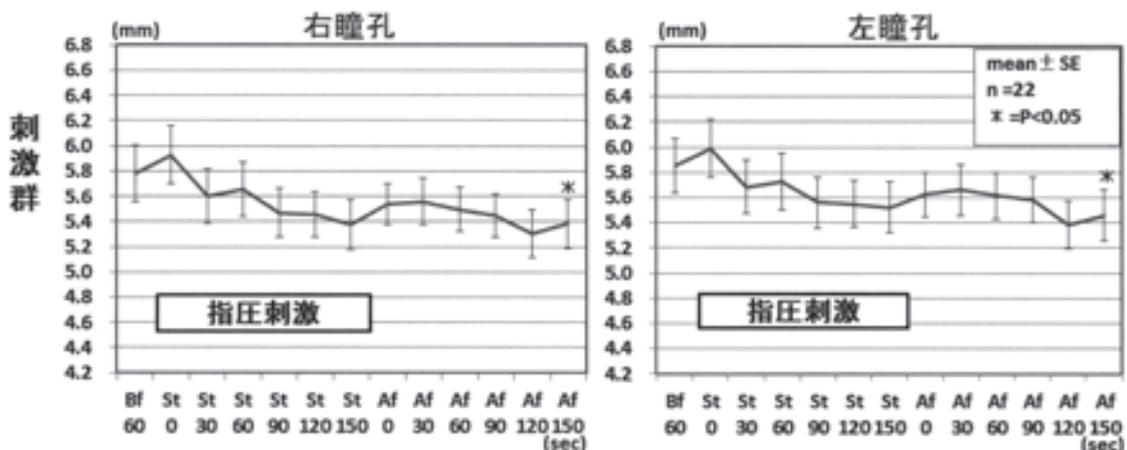
1. 瞳孔直径について (図6)

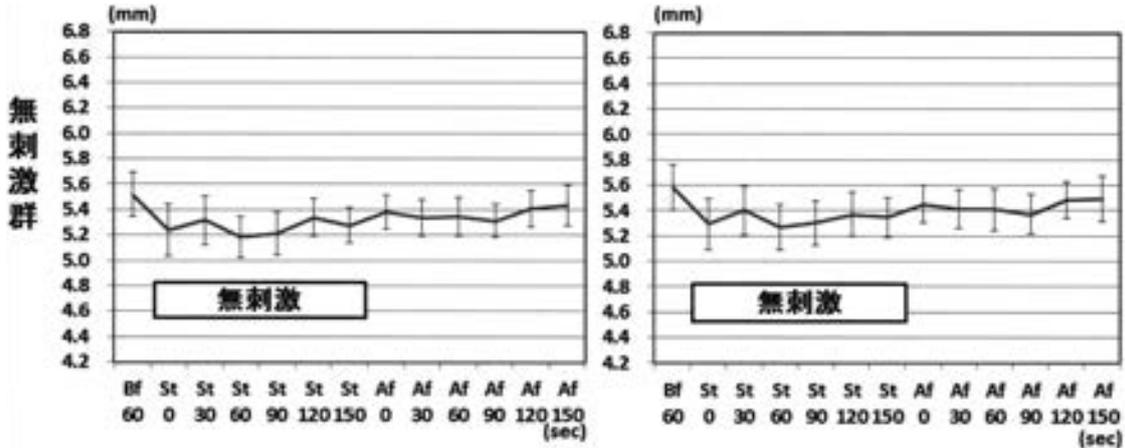
右瞳孔直径は、刺激群と無刺激群の経時的変化に交互作用を示した (p = 0.002)。右瞳孔直径では、刺激群は刺激前に比べて、刺激後150秒後 (p = 0.032) で縮瞳し、無刺激群では変化がなかった。

左瞳孔直径は、刺激群と無刺激群の経時的変化に交互作用を示した (p = 0.007)。左瞳孔直径では、刺激群は刺激前に比べて、刺激後150秒後 (p = 0.039) で縮瞳し、無刺激群では変化がなかった。

2. 血圧・脈拍数について

収縮期血圧・拡張期血圧・脈拍数では、刺激群、無刺激群に経時的変化が認められなかった。





上段は刺激群、下段は無刺激群、各グラフの縦軸は瞳孔直径 (mm)、横軸は時間経過 (sec) を示し、mean ± SE で示した。Bfは刺激前 (control)、Stは刺激中、Afは刺激後を示す。

図6 頭部への指圧刺激による瞳孔直径の変化

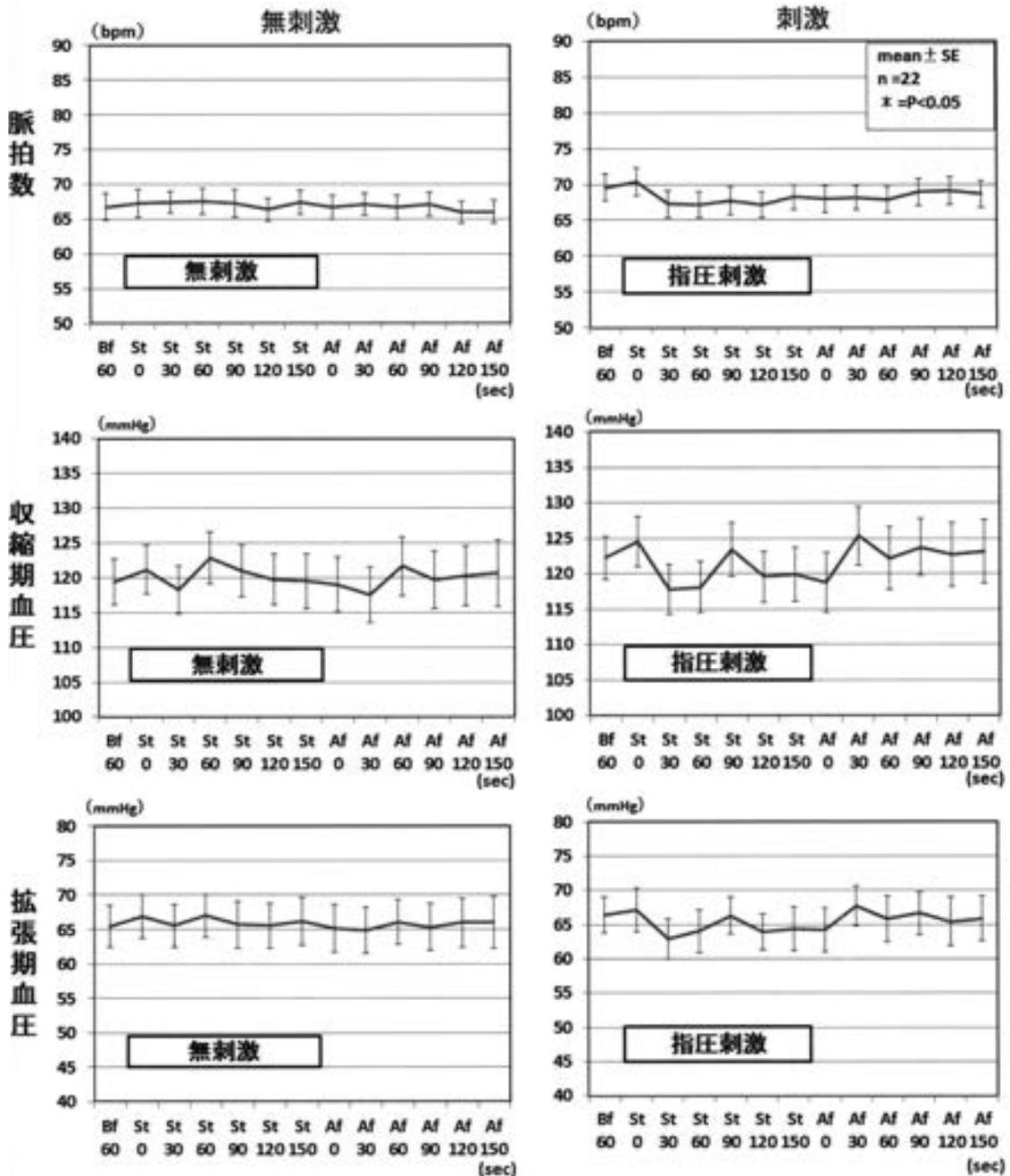


図7 頭部への指圧刺激による脈拍数、血圧の変化

IV. 考 察

今回の実験では、無刺激群では瞳孔直径の変化に有意差が認められなかったが、頭部への指圧刺激では瞳孔直径が有意に縮小した。

痛み刺激によって散瞳が起こることが報告されているが¹⁰⁾、本実験では痛みを伴わない快圧で指圧刺激を行った為に散瞳は認められなかったと考えられる。

瞳孔直径は交感神経（頸部交感神経）支配の瞳孔散大筋と、副交感神経（動眼神経）支配の瞳孔括約筋によって支配される。本実験で観察された指圧刺激による縮瞳反応は、瞳孔括約筋支配の副交感神経の興奮、瞳孔散大筋支配の交感神経の抑制の両方またはどちらか一方の結果生じたと考えられる。

高位中枢の関与する瞳孔反応においては交感神経が関与することが指摘されてきたが^{11)、12)}、Ohsawaら¹³⁾、志村ら¹⁴⁾は、麻酔下のラットへの鍼通電刺激やピンチ刺激による反射性散瞳は頸部交感神経切断によって影響されないことから副交感神経が抑制されて散瞳が起こることを確認しており、体性感覚刺激に対する瞳孔反応において副交感神経が重要な役割を果たしていることもまた報告されている。

これまでの報告では腹部・前頸部・仙骨部への指圧刺激によって瞳孔直径の縮小が有意に起こることを明らかにしており^{7~9)}、今回の頭部への指圧刺激もこれらの部位と同様に縮瞳反応が有意に起こることが示された。

V. 結 語

健常成人を対象とした今回の実験で以下のことが明らかになった。

1. 頭部への指圧刺激は、無刺激に比べて相殺効果を示し、瞳孔直径は刺激終了後に有意に縮小した。
2. 収縮期血圧・拡張期血圧・脈拍数は変化が認められなかった。

稿を終えるにあたり、本実験に協力して頂いた本校学生及び教職員諸氏に心より感謝の意を表す。

引用文献

- 1) 小谷田作夫、他：指圧刺激による心循環系に及ぼす効果について、東洋療法学校協会学会誌22号；40～45、1998
- 2) 井出ゆかり、他：血圧に及ぼす指圧刺激の効果、東洋療法学校協会学会誌23号；77～82、1999
- 3) 蒲原秀明、他：末梢循環に及ぼす指圧刺激の効果、東洋療法学校協会学会誌24号；51～56、2000
- 4) 佐藤広大、他：下腿部指圧刺激による胃電図の変化、東洋療法学校協会学会誌30号；34～38、2006
- 5) 黒澤一弘、他：腹部指圧刺激による胃電図の変化、東洋療法学校協会学会誌31号；55～62、2007
- 6) 加藤 良、他：前頸部指圧刺激が自律神経機能に及ぼす効果、東洋療法学校協会学会誌32号；75～79、2008
- 7) 栗原耕二郎、他：腹部の指圧刺激が瞳孔直径に及ぼす効果、東洋療法学校協会学会誌34号；129～132、2010
- 8) 横田真弥、他：前頸部・下腿外側部の指圧刺激が瞳孔直径に及ぼす効果、東洋療法学校協会学会誌35号；77～80、2011
- 9) 渡辺貴之、他：仙骨部への指圧刺激が瞳孔直径・脈拍数・血圧に及ぼす効果、東洋療法学校協会学会誌36号；15～21、2012
- 10) Oono,S.,Pharmacological studies on pupillary reflex dilation.J Pharmacol.,15,95-112,1965
- 11) Ward AAJ,Reed HL : Mechanism of papillary dilatation elicited by cortical stimulation.J Neurophysiol 9 : 329-335,1946
- 12) Lowenstein O,Loewenfeld IE : Role of sympathetic and parasympathetic systems in reflex dilatation of the pupil.Arch Neurol Psych 64 : 313-340,1950
- 13) Ohsawa H,Yamaguchi S,Ishimaru H,et al : Neural mechanism of pupillary dilation elicited by electroacupuncture stimulation in anesthetized rats.J Auton Nerv Syst 64 : 101-106,1997
- 14) 志村まゆら、大沢秀雄、富田明文、佐藤昭夫：皮膚侵害刺激による反射性瞳孔反応、自律神経、37：584～590、2000

学

園

祭



今年の学園祭は、
7月19日（土）に
行います。

本校の学園祭が、平成25年7月20日（土）に開催されました。

校庭での模擬店、坐位指圧、校舎でのフリーマーケットコーナー、チャリティー指圧、喫茶店、イベント等：例年以上の盛り上がりを見せ、一日楽しい時間を過ごすことが出来ました。

学校名物ともなった阿波踊り「指圧連」が、さらにアツク盛り上げました。

また、同時に学校説明会が開催され、本校の特色や授業内容等を受験希望者に伝えることができ、非常に

意義深い時間となりました。今回で第9回目になりましたが、楽しみにしてくださっている方の声を聞くと、年々地域に根付いてきているように感じます。委員をはじめとして学生達は各コーナーの充実をはかるべく頑張っておりです。お知り合いの方、入学を考えている方などお誘いあわせの上、ぜひ、足をお運びください！

最後に、学園祭にご参加いただいた皆様に心より感謝いたしますと共に、学園祭を盛り上げてくれた学生に心よりお礼申し上げます。

平成27年度 浪越学園 日本指圧専門学校 入学試験案内

試験名	受付期間	試験日
①社会人入学試験	8月28日（木）～ 9月4日（木）	9月7日（日）
②推薦入学試験	9月29日（月）～ 10月2日（木）	10月5日（日）
③一般入学試験（第1次）	10月31日（金）～ 11月6日（木）	11月9日（日）
④一般入学試験（第2次）	11月20日（木）～ 11月27日（木）	11月30日（日）
⑤一般入学試験（第3次）	1月8日（木）～ 1月15日（木）	1月18日（日）
⑥特別入学試験	1月29日（木）～ 2月5日（木）	2月8日（日）

*願書受付期間、入試科目につきましては、日本指圧専門学校事務局までお問い合わせください。03-3813-7354
*⑤、⑥の一般入学試験（第3次）と特別入学試験は、一般入学試験（第2次）で定員に達した場合は実施しません。

テルマエ・ロマエII 映画ロケ

(平成26年4月26日(土) 上映開始)
出演：阿部寛・上戸彩・北村一輝・他

事務局 佐野雅博



前回大ヒットのテルマエ・ロマエの続編ができました。あまり紹介されていませんが、今回は指圧が出てきます。昨年5月と6月、宝川温泉と日活調布スタジオにて、撮影現場での指圧指導という形で参加。また、主演の阿部さんを浪越雄二先生が圧すこととなり感

謝される事となりました。指圧のシーンでは、浪越徳三郎という人が出てきてまして、ローマ皇帝を指圧治療をするという大変名誉なお話が出てきます。是非、実際の映画を見て頂きたいと思います。まず、現場の参加者全員の前で浪越雄二先生の紹介があり、大きな拍

手を頂きました。浪越徳三郎さんを演じている、管登未男(すとみお)さんですが、眉毛は太くし、親指にはシリコンで作った指を付けていました。かな



浪越徳三郎役 管 登未男さん



り徳治郎先生を調べて撮影をしているのだと浪越雄二先生も感心しておりました。「指圧の心、母ごころ……」、同時に腕等動かしますが、管さんがなかなか出来なくて、何度もやり直しされていました。彼の撮影が全て終了しての

花束を抱いての挨拶が、印象的でした。「実際に存在した人間の役を初めてやらさせて頂きました。しかも大先生。こんなに難しいものとは……彼の心に深く刻まれた時間だったでしょう。お疲れ様でした。



校庭の銅像とそっくりの銅像も出てきます

寄付金賛助者ご芳名

平成二十五年度 三三四件
一、〇〇二、一〇五円

御芳名掲載をもって
御礼と領収の証とさせていただきます。○数字卒業期(敬称略、順)

美³²石井ヒサエ³³福井素子⁴⁴浅野久美子⁴⁸浅田秀男⁵³石田浩

☆七千円

¹⁷柿沼繁富³⁹柴田ひろみ

☆五千五百円

²⁰平野香代子

☆五千円

⁴石原博司¹³椿行雄¹⁸原忠雄²⁰川口義宏²¹川本博子²⁵鶴見せつ子²⁵沢畑碩亮²⁶東光一²⁹鳥山久子³⁰石川明子³⁷襲田佳男³⁹高野賀史⁵⁰岩本健一⁵¹岡本泰明

☆四千元

¹⁶中村由子²²度会昌則³²鈴木啓一⁴⁹北出真之

☆三千元

¹大日方子西¹田中利⁴村越てい子⁴貝塚小夜子⁷鈴木篤⁸藤井トシ子⁸仁科義介⁸藤井正弘⁹野口幸子¹⁰小出忠志¹¹佐藤脩¹¹細谷節子¹²松本チヨ子¹²柳澤光男¹⁶入山君子¹⁶國田イト子¹⁶笹木喜太郎¹⁷糸井正子¹⁸井芹幸夫¹⁹小野寺英男¹⁹舟津昌亮²⁰武藤圭子²⁰川島栄²¹相

☆八千円

⁴瓦和夫¹¹須田麻紗子¹⁴高柳茂男²⁵稲澤章²⁵中澤雅啓²⁷黒岩文子²⁸畑中糸

野谷眞²¹小川久子²¹小美濃隆²²岩本勉²²本間詩朗²²鈴木信彦²²橋本二郎²³馬場正義²³中村一夫²⁴篠原よ志子²⁴新田悦子²⁴上野末次²⁴向井豪²⁵糸井主好²⁷川畑女恵子²⁷浪越雄二²⁷田中克幸²⁹窪田ミツ子²⁹関根康博³¹海阪治³¹吉本清隆³²宇佐美康夫³²広明文夫³³梅枝千代子³³加藤榮一³³関澤陽一³⁴藤沼しづ子³⁵中山圭子³⁵木暮晴雄³⁶小倉義夫³⁷平野広樹³⁸木村龍一郎³⁹佐藤清子³⁹板谷智⁴⁰田沢佳世子⁴⁴岡田鍊⁴⁴笹山秀美⁴⁴小野朋子⁴⁴小松和幸⁴⁵鈴木喜美子⁴⁵北條崇成⁴⁷當麻康江⁴⁷稲生妙子⁴⁹大島和夫⁴⁹久保勉⁴⁹大久保龍⁵⁰稲場幸夫⁵⁰田中慶篤⁵⁰藤本かおる⁵²宮下麗子⁵⁴黒田智枝⁵⁴湯澤彩⁵⁴安藤春美

☆一千元

川島健嗣⁴⁷中島寅雄⁴⁹荒海恵子⁴⁹田中功⁵⁰植松祐輔⁵³河内誠二⁵⁴小野悠一

¹小松崎義雄¹小松崎ツネ⁴根岸とき枝⁴山川友枝⁴中村幸夫⁴中村和子⁸赤澤えい¹⁰石川辰男¹⁵佐藤肇¹⁷平井伸穂¹⁷平井浩子¹⁸鎮目征幸²⁶小川伸之²⁷倉地徳成²⁸中島祥景³³景山正規³³岩見和夫³⁴伊藤光一³⁵平野晴彦³⁶栗村輝子³⁷末永洋子³⁸岩下禎夫³⁹関裕子⁴⁰小谷田作夫⁴¹鈴木喜也⁴⁵大森紀代子⁴⁵高内英美⁴⁵山崎陟⁴⁶

¹阿部サト¹下田久子¹松田平三郎¹¹小坂八郎¹¹村松カチ子⁶石原和信¹²岩切秀樹¹²安達政男¹³高橋宏¹³金野智恵子¹⁴萩原忠雄¹⁶河井昭治¹⁶下野貴美子¹⁶濱田洋¹⁶今井美奈¹⁶土屋西治¹⁷川村達伸¹⁷斎藤良知¹⁷萩原嘉寿代¹⁸粟野ちづ子¹⁸阿部はるみ¹⁸田代陽一¹⁸小山福松¹⁸勝沼喜夫¹⁹鶴田志かの¹⁹天海誠¹⁹佐藤一雄¹⁹比留間民子¹⁹三好英子¹⁹新村忠志¹⁹阿部郁子¹⁹千葉主²⁰櫛克彦²⁰小林静佳²⁰青木豊²⁰千葉とき子²⁰下田文字²⁰矢野久生²⁰石田隆孝²¹服部青香²¹湯浅昇²¹富田芳平²²小池せつ子²²中原美恵子²²高木二郎太²²宮脇利博²³高橋耕作²⁴村井美枝子²⁴岡本草苑子²⁴能沢美代子²⁴前田秀隆²⁴佐藤義男²⁴千野京子²⁴松本輝男²⁵駒田和男²⁵田島公代²⁵大貫久美子²⁵関伊智朗²⁵山田三義²⁵工藤文宏²⁵森松信枝²⁶笠原正親²⁶小山内多美江²⁶野口雅子²⁶藤原博²⁶加園政夫²⁶佐藤優²⁷内城勇造²⁷内山直行²⁷小松せつ子²⁸浜口賢二²⁹平沼良造³⁰石黒正孝³⁰安藤富士男³⁰福安

編集後記

寒さも和らぎ、新緑が芽吹き穏やかな春を迎え、皆様如何お過ごしでしょうか。今年の三月には数十年ぶりと言われる大雪に東京も見舞われ、同窓生の皆様、被害など大丈夫でしたでしょうか？私は愛車のルーフが傷だらけになってしまい、思わぬ出費に見舞われました。

そんな小さな事に拘わることなく、我が浪越学園は昨年度今世紀最大とも言える大事業を達成しました。春日通りに面し、颯爽とそびえ立つ新校舎の建設が完成しました。地下一階、地上十二階、学生にとって大変好ましい学習環境が自習室、広い図書室、学生ラウンジ等で実現されました。絨毯に包まれた床木目調の内装、柔らかな日差しが差し込む窓と教室も一段と良い環境となり、学生たちは皆生き生きと勉強に励んでおります。また、正面玄関を入るとロビーには同窓会より寄贈されました浪越徳治郎先生のレリーフが眼に飛び込んで下さいます。いつも我々を見守って下さり、未知なるパワーを与えて下さいます。そして絶好のシャッタースポットとなっております。

この大事業を永遠の浪越指圧のシンボルと自信に変え我々も一歩ずつ成長してゆきましよう！本同窓会会報誌も第35号を迎えることが出来ました事を一重に同窓会会員の皆様のお蔭と感謝しております。ご意見・ご感想など御座いましたら是非同窓会会報委員までお知らせ頂けたら幸いです。これからもどうぞよろしくお願致します。

(智久)

日本指圧専門学校同窓会

予算案

自 平成26年 4月 1日
至 平成27年 3月 31日

貸借対照表

平成26年 3月 31日現在

収 入 の 部			
	25年度予算	25年度決算	26年度予算
前年度より繰越	6,881,989	6,881,989	7,302,695
入 会 金	1,800,000	1,785,000	1,800,000
運 営 費	1,100,000	1,078,000	1,010,000
総 会 収 入	700,000	577,000	600,000
預 金 利 息	200	1,025	200
そ の 他 収 入	10,000	3,500	5,000
寄 付 金	800,000	1,002,105	900,000
講 習 会 費	100,000	136,000	100,000
新規事業引当金戻入益	2,570,977	2,570,977	0
収 入 合 計	13,963,166	14,035,596	11,717,895
支 出 の 部			
	25年度予算	25年度決算	26年度予算
総 会 費	1,400,000	1,082,374	2,000,000
講 習 会 費	800,000	469,923	800,000
会 報 発 行 費	1,300,000	1,245,352	1,500,000
通 信 費	500,000	499,056	700,000
印 刷 費	100,000	60,000	100,000
渉 外 費	300,000	30,800	300,000
交 通 費	300,000	232,410	300,000
慶 弔 費	100,000	41,920	100,000
事 務 用 品 費	30,000	3,433	30,000
雑 費	50,000	39,913	50,000
情 報 管 理 費	300,000	118,843	300,000
消 耗 備 品 費	50,000	6,160	50,000
役 員 会 議 費	50,000	48,435	50,000
設 備 使 用 料	50,000	36,000	50,000
予 備 費	100,000	0	100,000
新 規 事 業 費	300,000	23,100	300,000
減 価 償 却 費	18,682	18,682	2
新規事業引当金繰入	0	0	0
事 務 活 動 費	500,000	120,000	500,000
浪越徳治郎先生レリーフ作成費	3,000,000	2,656,500	0
支 出 合 計	9,248,682	6,732,901	7,230,002
次 年 度 繰 越	4,714,484	7,302,695	4,487,893

資 産 の 部		負債及び正味資産の部	
現 金	54,022	新 規 事 業 引 当 金	0
東 京 三 菱 普 通 口	3,166,405		
郵 便 貯 金 口	4,082,266	(正味資産の部)	
備 品	2	余 剰 金	7,302,695
合 計	7,302,695	合 計	7,302,695

収支報告書

自 平成25年 4月 1日
至 平成26年 3月 31日

収 入 の 部			
	25年度予算	25年度決算	内 訳
入 会 金	1,800,000	1,785,000	57期 15,000円×119名分
運 営 費	1,100,000	1,078,000	2,000円×539名分
総 会 収 入	700,000	577,000	8,000円×54名 ご祝儀145,000円
預 金 利 息	200	1,025	預貯金利子
そ の 他 収 入	10,000	3,500	名簿売上金
寄 付 金	800,000	1,002,105	324名
講 習 会 費	100,000	136,000	宿泊実費
新規事業引当金戻入益	2,570,977	2,570,977	
当 期 収 入 合 計	7,081,177	7,153,607	A
前 期 繰 越 収 支 差 額	6,881,989	6,881,989	B
収 入 合 計	13,963,166	14,035,596	A + B
支 出 の 部			
	25年度予算	25年度決算	内 訳
総 会 費	1,400,000	1,082,374	茗溪会館会場費、講師謝金
講 習 会 費	800,000	469,923	実技研修会、母校、地方研修(千葉)
会 報 発 行 費	1,300,000	1,245,352	会報34号
通 信 費	500,000	499,056	郵便別納料金、郵送料、ハガキ代
印 刷 費	100,000	60,000	同窓会用振込用紙作成
渉 外 費	300,000	30,800	指圧協会、母校、祝い金等
交 通 費	300,000	232,410	運営委員会交通費 他
慶 弔 費	100,000	41,920	新校舎落成記念生花、香典等
事 務 用 品 費	30,000	3,433	今井文具店 ファイル他事務用品
雑 費	50,000	39,913	委員会お茶代、両替手数料
情 報 管 理 費	300,000	118,843	名簿データCD作成、同窓会ホームページ管理費用
消 耗 備 品 費	50,000	6,160	名札シート
役 員 会 議 費	50,000	48,435	役員会研修会 会場費、お茶代
設 備 使 用 料	50,000	36,000	母校へコピー機、電話使用料として
予 備 費	100,000	0	
新 規 事 業 費	300,000	23,100	同窓会長賞贈呈(55期生)
減 価 償 却 費	18,682	18,682	ノートパソコン・ビデオカメラの償却
新規事業引当金繰入	0	0	
事 務 活 動 費	500,000	120,000	講習会スタッフ手当等
浪越徳治郎先生レリーフ作成費	3,000,000	2,656,500	新校舎へ浪越徳治郎先生レリーフを寄贈
当 期 支 出 合 計	9,248,682	6,732,901	C
当 期 収 支 差 額	-2,167,505	420,706	A - C
次 年 度 繰 越	4,714,484	7,302,695	A + B - C

平成26年3月31日

日本指圧専門学校同窓会

会 長 川 原 善 次 郎 印
 会 計 高 橋 雄 輔 印
 黒 田 美 稚 子 印
 監 査 渡 邊 和 雄 印
 岩 本 健 一 印

平成26年度 通常総会・懇親会（新入会員歓迎会）

1. と き：平成26年6月8日（日） 10時
2. ところ：リーガロイヤルホテル東京 2階
東京都新宿区戸塚町1-104-19
総会・記念講演 エメラルド
新入会員歓迎会（懇親会） ダイヤモンド
TEL 03-5285-1121
URL www.rihga.co.jp/tokyo/

今年は会場が変わりました。
ご注意ください！

- 交 通：JR 高田馬場駅よりホテルの無料シャトルバスで約10分
都営バスで約25分
東京メトロ 東西線 早稲田駅より徒歩約7分
東京メトロ 有楽町線 江戸川橋駅より徒歩約10分
3. 内 容：総会（10：00～10：50）
活動報告、会計報告、監査報告、予算案
・記念講演（11：00～12：30）
「身体・健康・心の健康－脳の科学から考える－」
講師 河野貴美子先生 工学博士
立教大学理学部物理学学科卒業
現在、NPO 法人 国際総合研究機構 副理事長
東京都済生会看護専門学校講師
・懇親会（新入会員歓迎会）（12：30～14：30）
 4. 懇親会（新入会員歓迎会）費：8,000円（当日納金も可）
 5. 申 込：会報誌に同封されておりますハガキにて出欠をお知らせください。また、懇親会（新入会員歓迎会）参加の方は会費8,000円を同封の郵便為替用紙にて事前に納めていただきますと、受け付け事務の混乱が防げますのでご協力を御願い致します。

